
美 幌 町

子ども・子育て支援事業計画」策定の
ためのアンケート調査報告書

令和6年9月

美幌町

1 調査の目的

美幌町の子ども・子育てに関する実態とニーズを把握するため、小学校就学前の子ども及び小学校就学している子どもの保護者を対象とするアンケート調査を実施しました。

調査票の種類	対象者	配付数
未就学児の保護者用	町内在住の就学前の子どもの保護者 (令和6年4月1日現在)	419 名
小学生の保護者用	町内在住の小学生の保護者 (令和6年4月1日現在)	300 名

2 調査の方法

調査は、配付・回収とも郵送により実施しました。

3 調査期間

令和6年2月9日から3月5日までとして実施しました。

※3月5日以降に届いた分も全て集計に含めております。

4 回収数と回収率

調査の種類	配付数	回収数			回収率
			郵送	インターネット	
未就学児の保護者用	419 名	196名	100 名	96 名	46.8%
小学生の保護者用	300 名	131名	60 名	71 名	43.7%
合 計	719 名	327名	160 名	167 名	45.5%

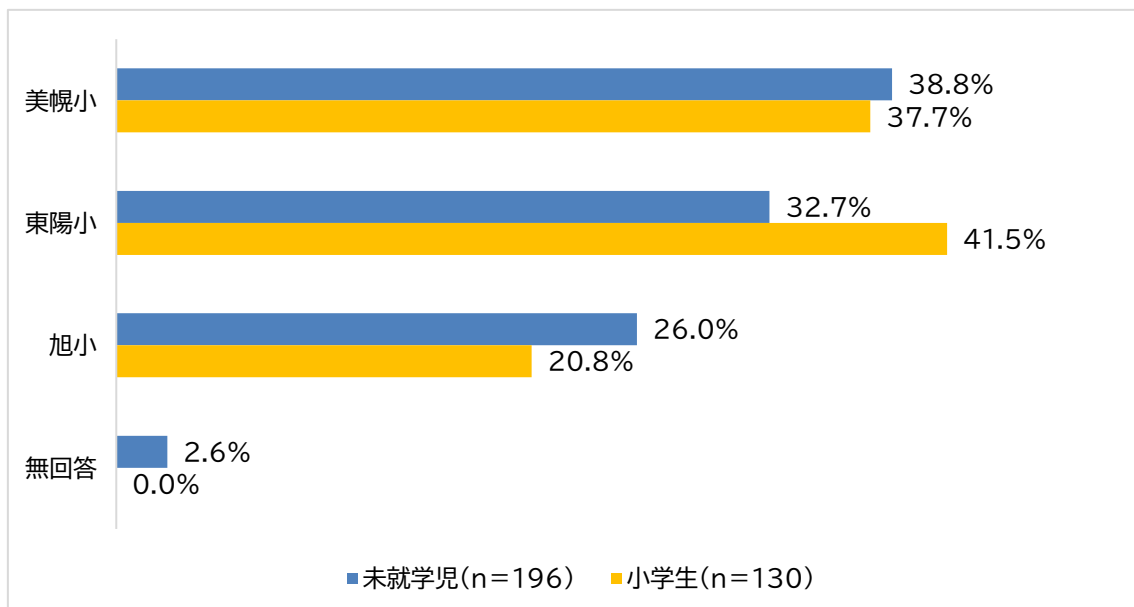
5 集計結果の概要

集計結果の概要については、次ページ以降のとおりです。なお、留意点は以下のとおりです。

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。
従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、「n=〇〇〇」として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 【複数回答】とある問いは、1人の回答者が2つ以上の回答をしても良い問いであるため実数nは回答総数としています。
- ④ 文中、図表中の選択肢の文言は作図等の都合により一部簡略化しています。
- ⑤ 問いの中には「～に○を付けた方にうかがいます。」など、いろいろな制限を設けている問いもあり、回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

お住まいの地域について【共通】

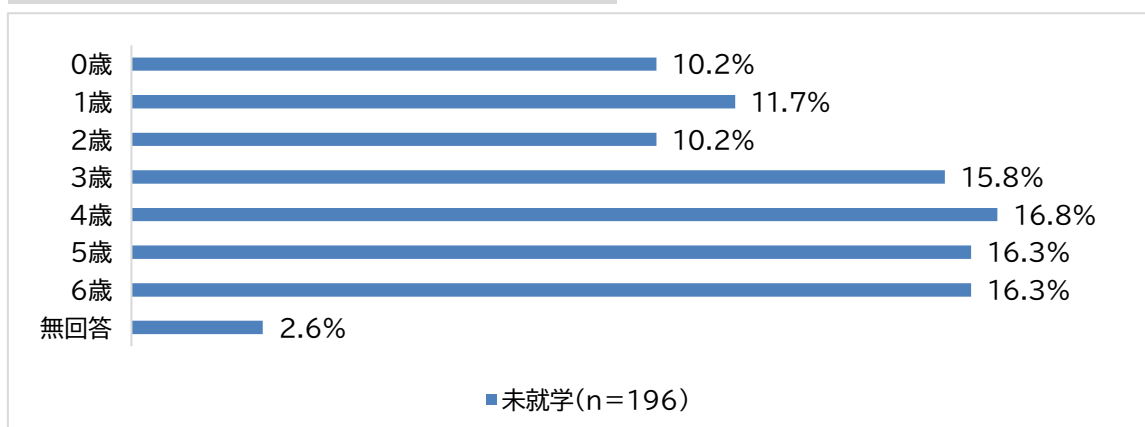
問 あなたがお住まいの地区を小学校区でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



未就学児は、「美幌小」がもっとも多く、次いで「東陽小」、「旭小」の順になっています。
小学生は、「東陽小」がもっとも多く、「美幌小」、「旭小」の順になっています。

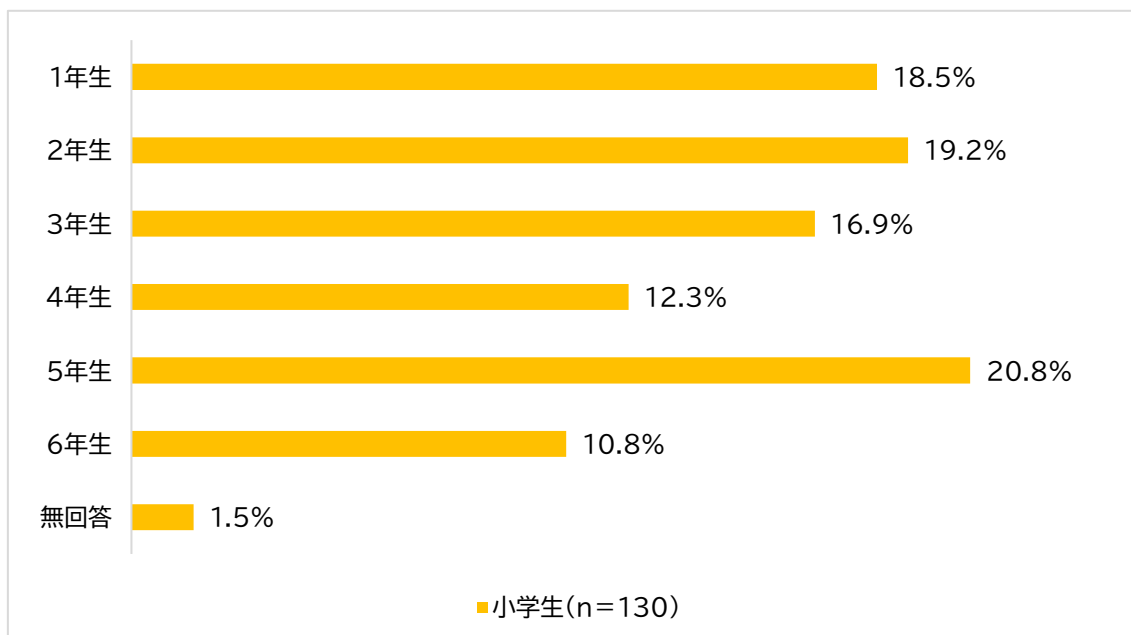
お子さんご家族の状況について【共通】

問 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。



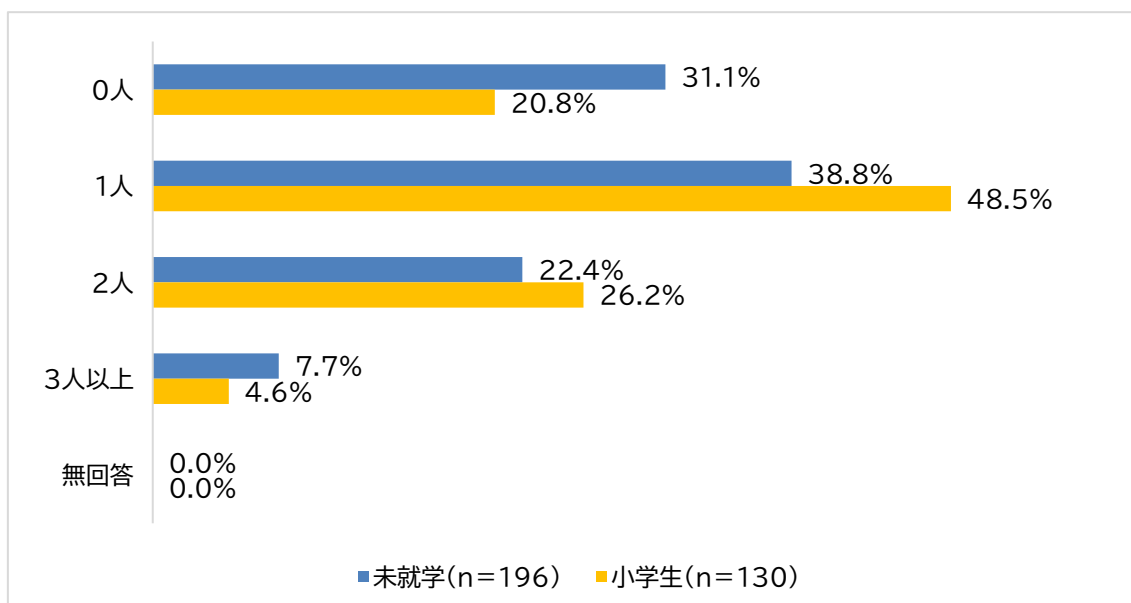
未就学児は、「4歳」がもっとも多く、次いで「5歳」と「6歳」、「3歳」となっており、「3歳」未満は若干少なくなっています。

問 宛名のお子さんの学年をご記入ください。



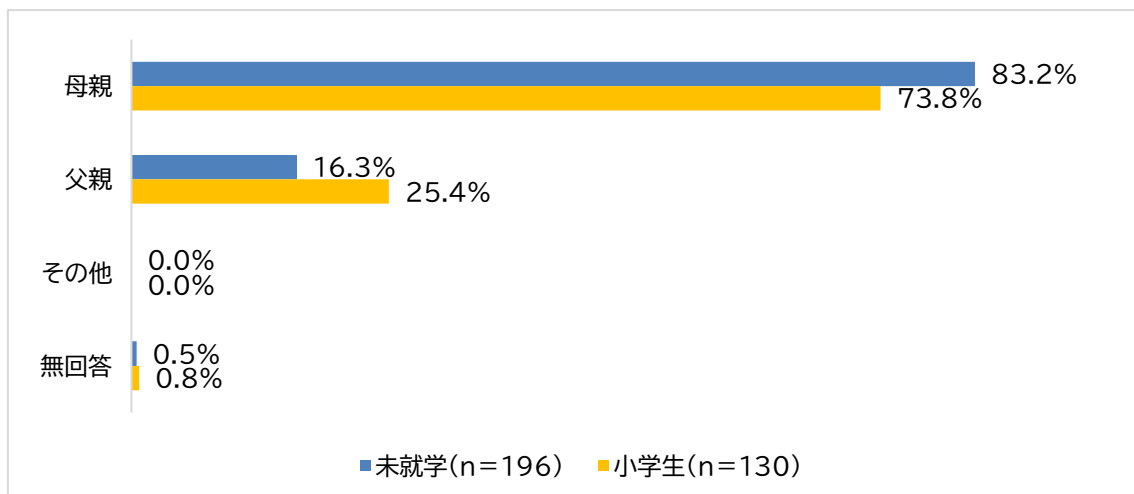
小学生は、「6年生」と「4年生」が若干少ないですが、1年生から3年生、5年生は概ね同程度となっております。

問 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。



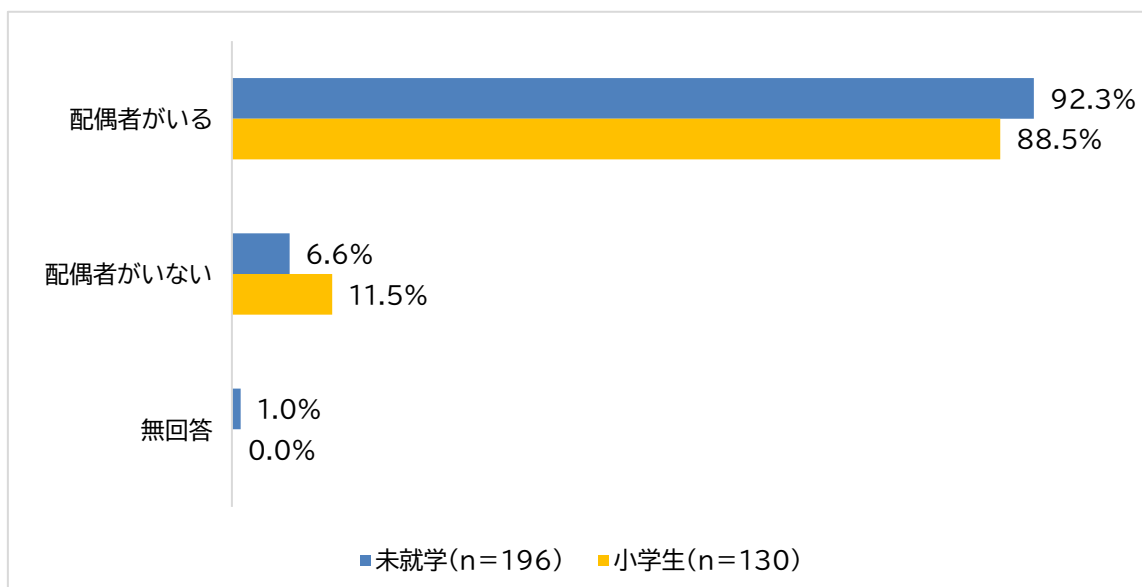
未就学児は、「1人」が最も多く、次いで「2人」、「0人」、「3人以上」の順になっています。
小学生は、「1人」が最も多く、次いで「2人」、「0人」、「3人以上」の順になっています。

問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。



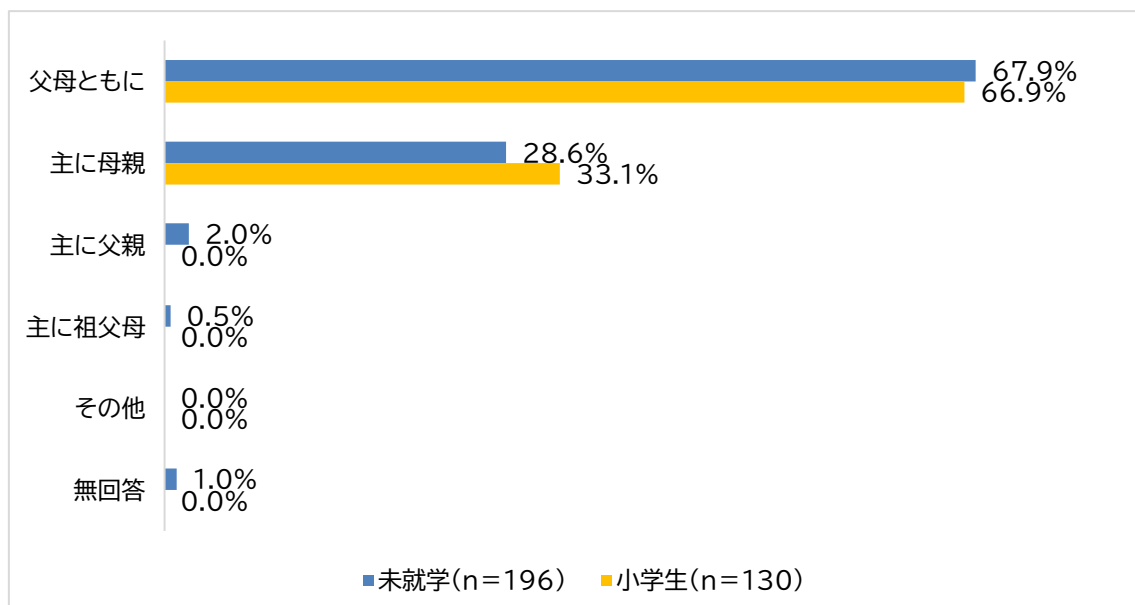
未就学児・小学生ともに、「母親」の回答が多くを占めており、「父親」は2割程度となっています。

問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。



未就学児・小学生ともに、「配偶者がいる」の回答が約9割を占めており、「配偶者がいない」は1割程度となっています。

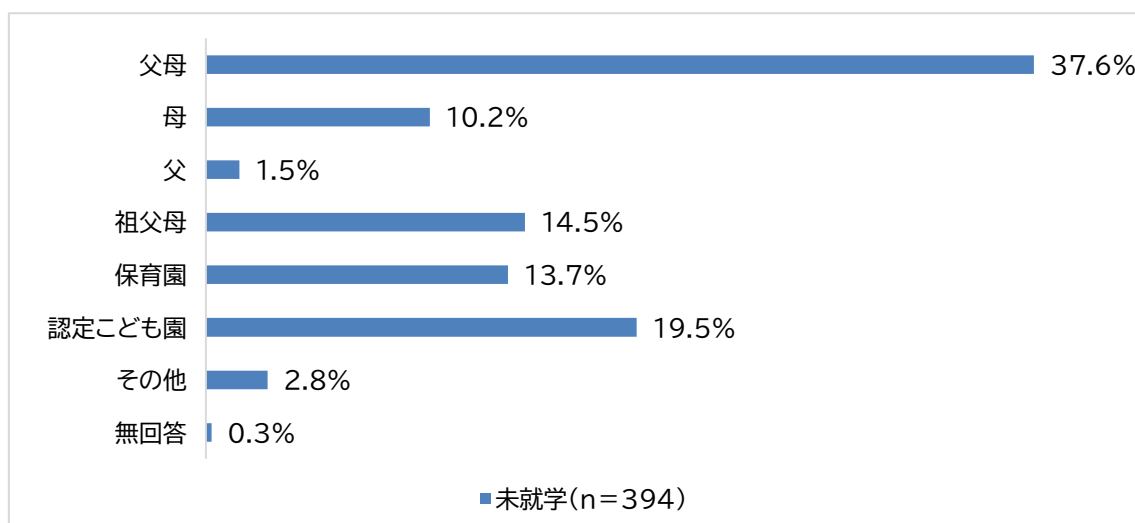
問 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。



未就学児・小学生ともに、「父母ともに」の回答が約7割を占めており、次いで「主に母親」の回答が約3割を占めています。

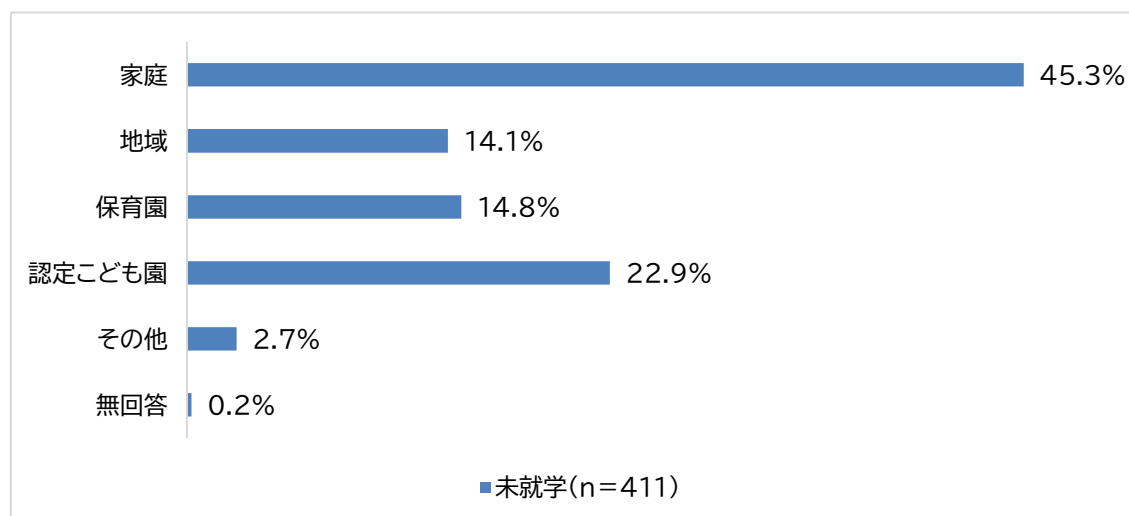
子どもの育ちをめぐる環境について

問 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。【複数回答】



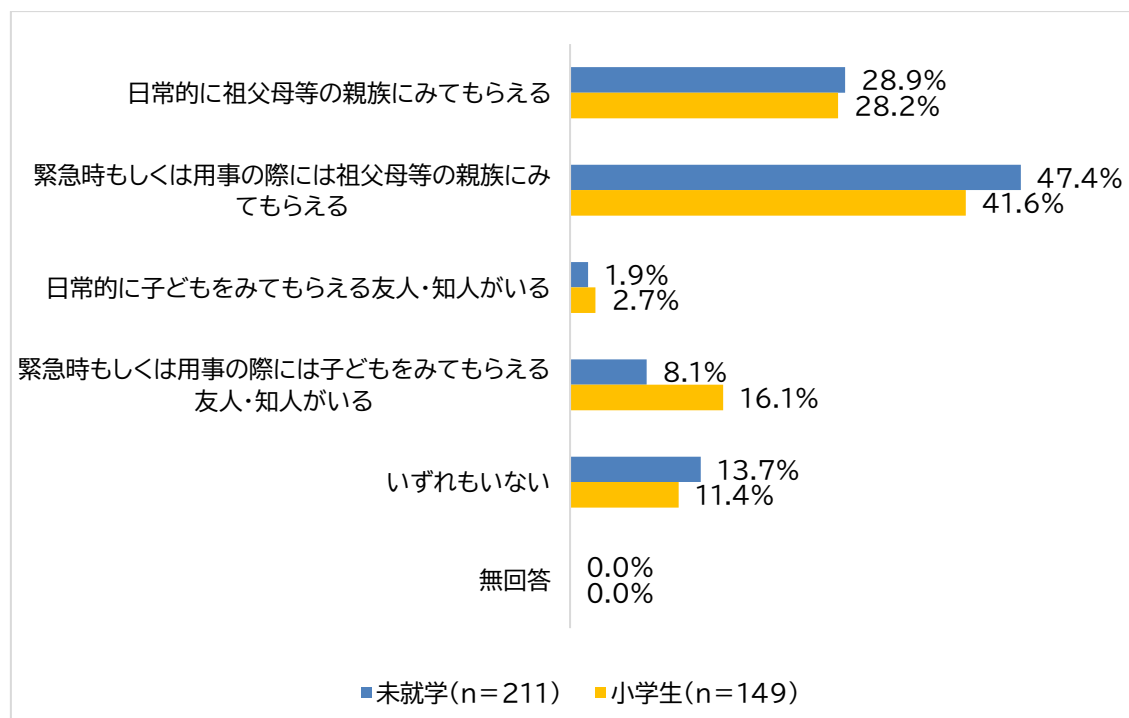
未就学児のみの設問であり、「父母」の回答が約4割を占めており、次いで施設である「認定こども園」と「保育園」を合わせると3割、次いで祖父母の順となっています。

問 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。【複数回答】



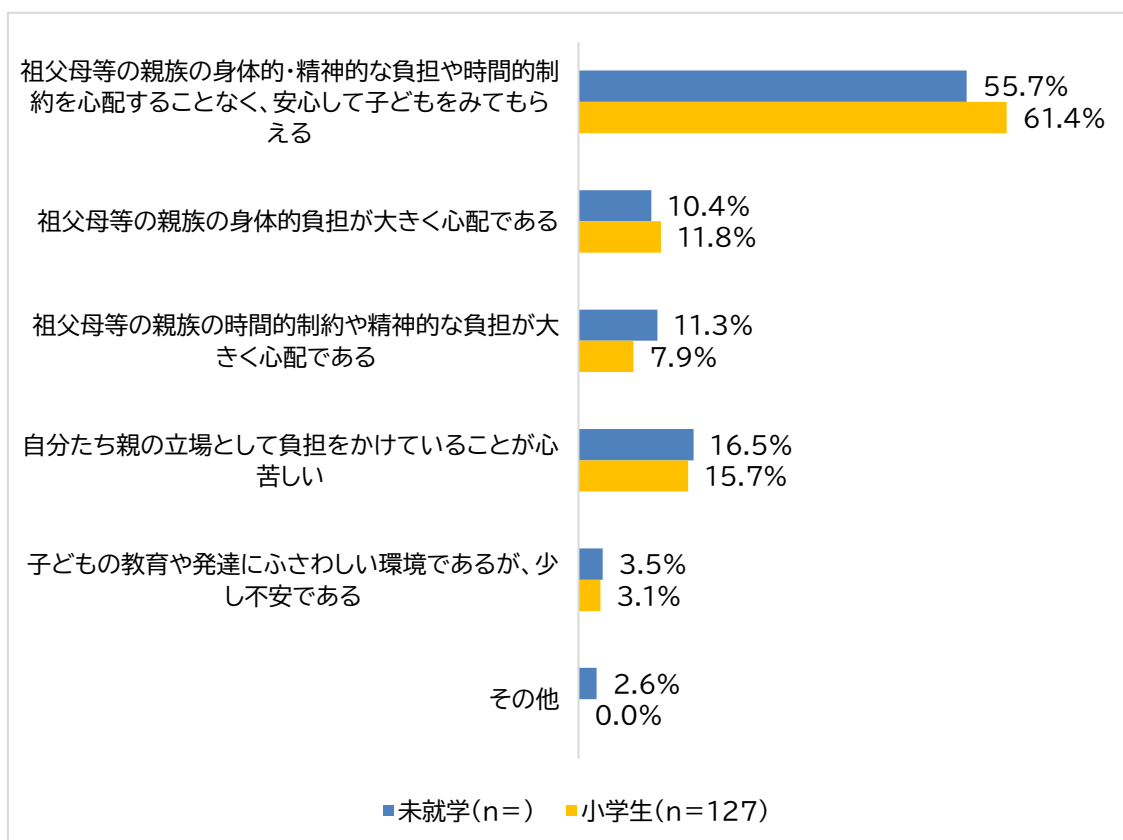
未就学児のみの設問であり、「家庭」が最も多く、次いで施設である「認定こども園」「保育園」、「地域」の順となっています。

問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】



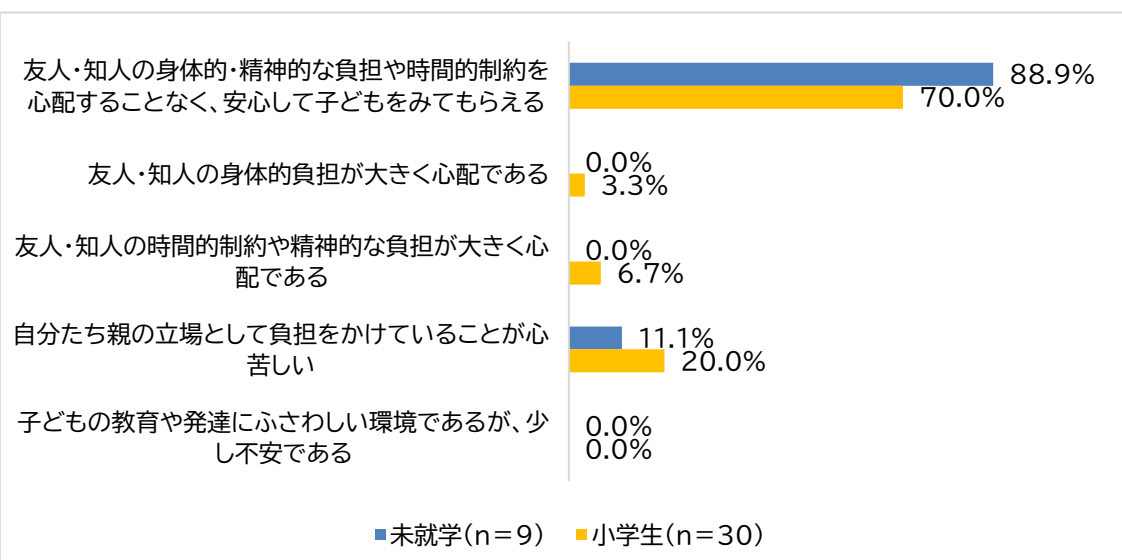
未就学児・小学生ともに、「日常的にいる」「緊急時にはいる」の「祖父母・親族」が多く占めており、小学生になると若干「日常的にいる」「緊急時にはいる」の「友人・知人」が多くなっていますが、「いずれもない」が1割を超えています。

問 前問で「祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】



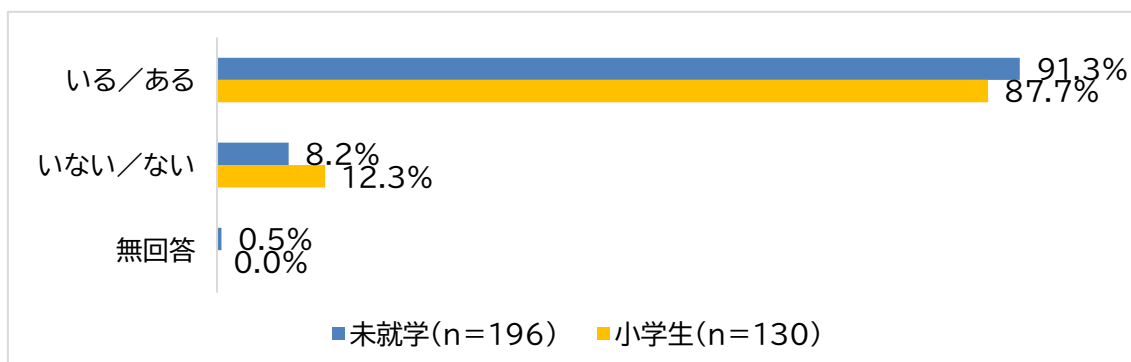
未就学児・小学生ともに、「祖父母等の親族に安心してみてもらえる」の回答が5割から6割を超えており、次いで、「負担をかけていることが心苦しい」の回答となっています。

問 前問で「友人・知人にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】



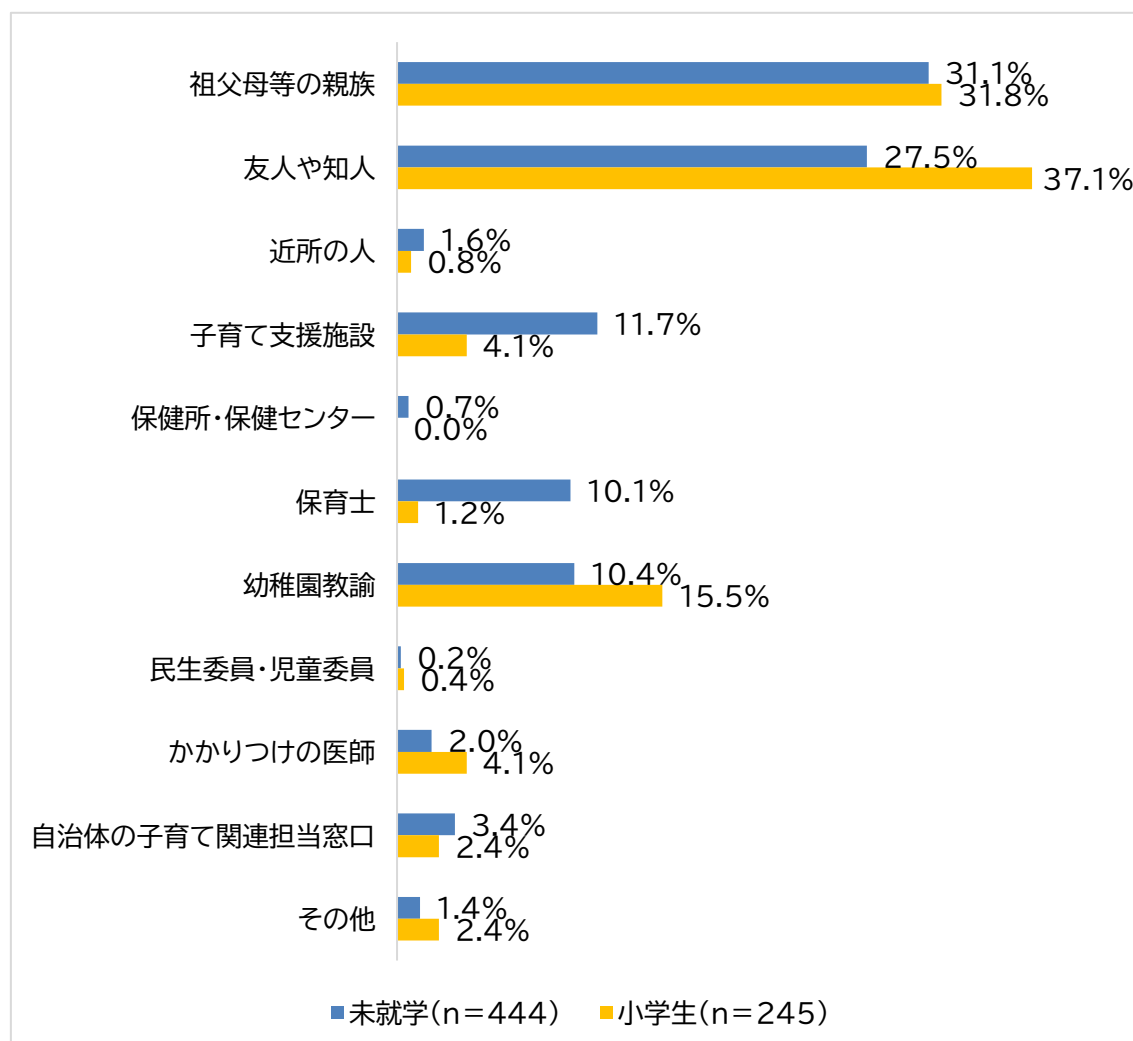
未就学児・小学生ともに、「友人・知人等に安心してみてもらえる」の回答が多くを占めており、次いで、「心苦しい」の回答となっています。

問 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(配偶者・パートナー以外)・場所がありますか。



未就学児・小学生ともに、約9割の方が、子育てを気軽に相談できる人(場所)があると回答しています。

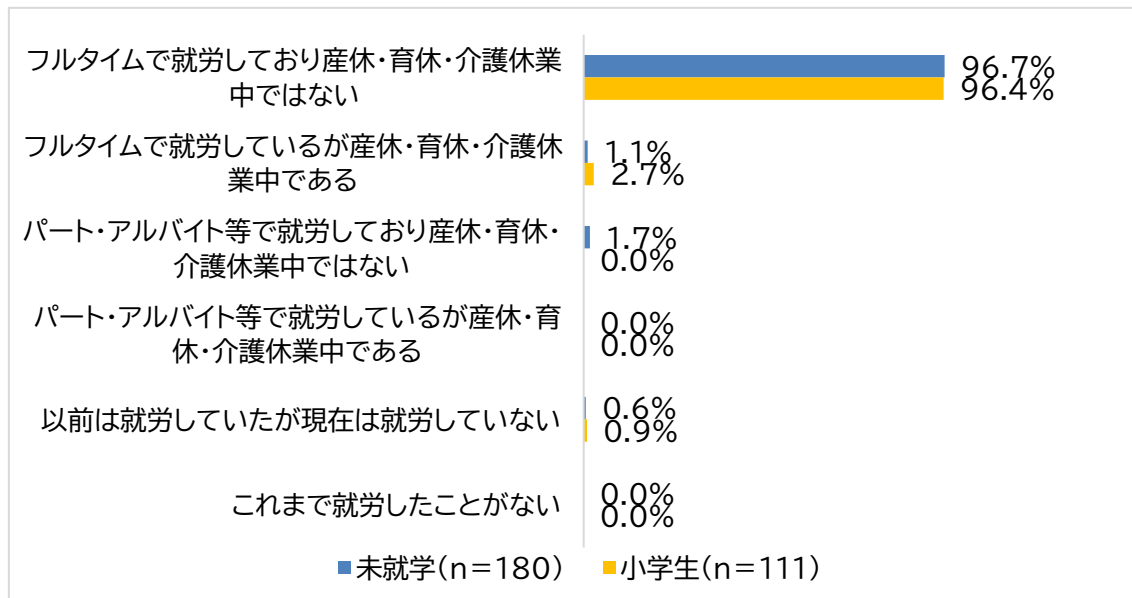
問 前問で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。



未就学児・小学生ともに、「祖父母等の親族」「友人や知人」の回答が約6割から7割を占めています。次いで、未就学児は、「幼稚園教諭」「保育士」「子育て支援施設」の回答が約1割を占めており、小学生は、「教師等」の回答となっています。

保護者(父親)の就労状況について【共通】

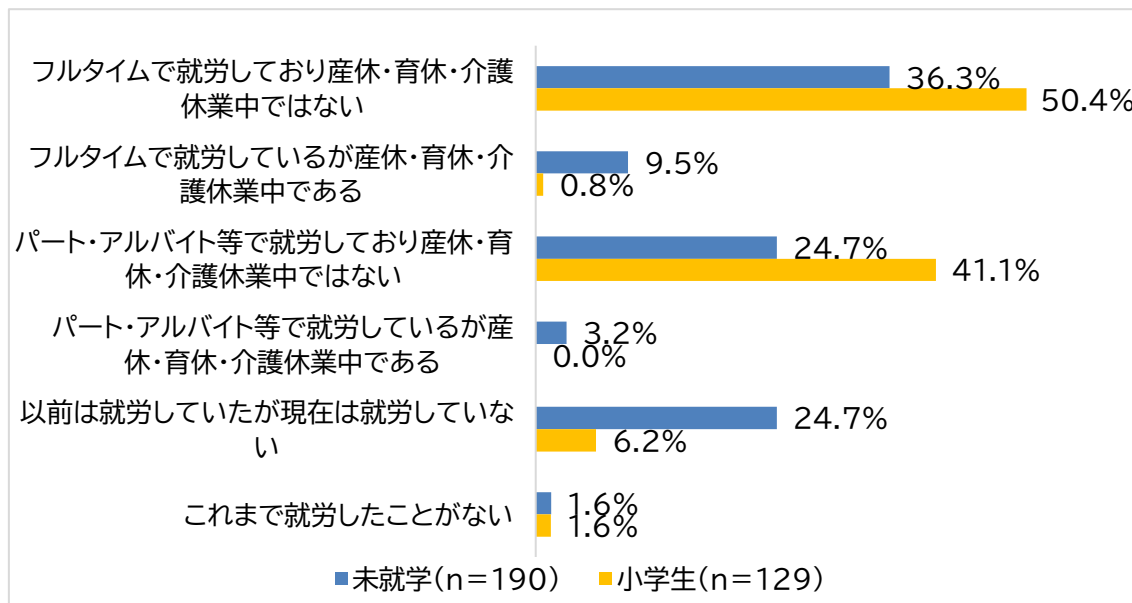
問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。



未就学児・小学生ともに、「フルタイム就労」が最も多くなっています。

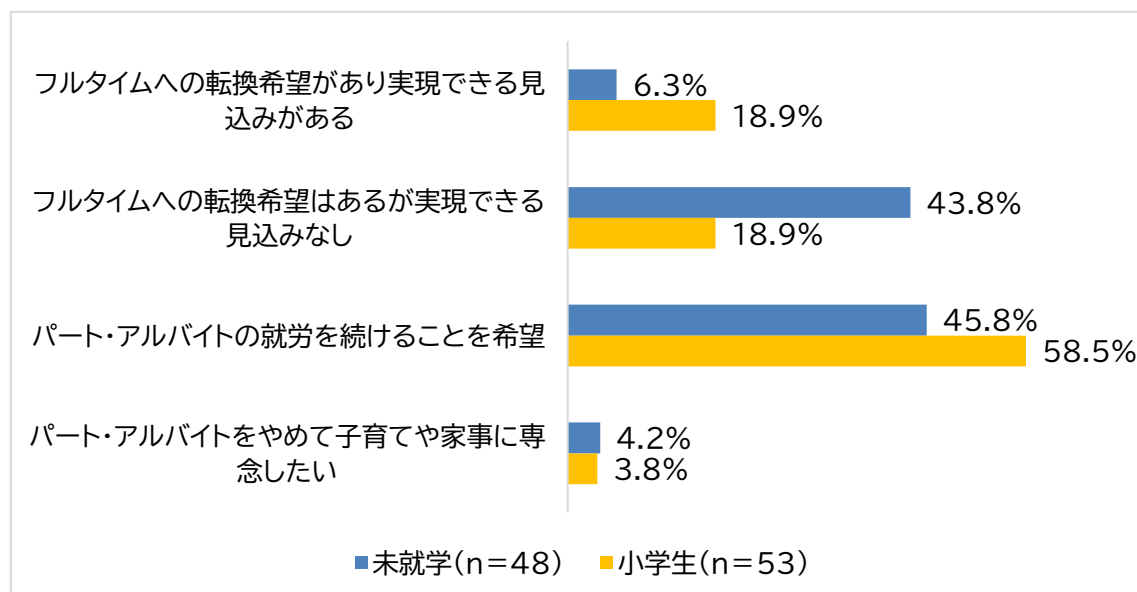
保護者(母親)の就労状況について【共通】

問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。



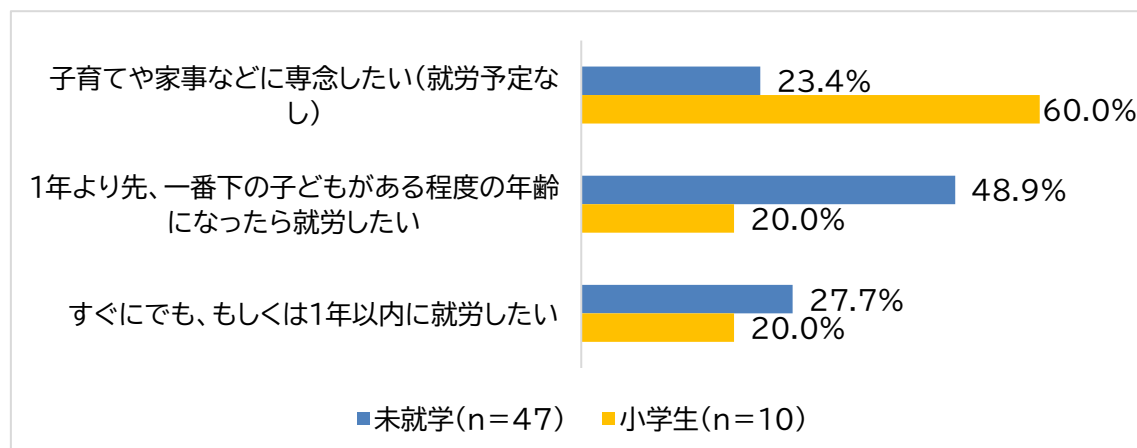
未就学児、小学生とも「フルタイム」が最も多く、次いで「パート・アルバイト等」となっている。
未就学児は「育休中」よりも「現在就労していない」が多い結果となっている。

問 前問で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。



未就学児、小学生とも「パート・アルバイト等の就労継続の希望」がもっとも多いが、未就学児では「フルタイムへの転換希望があるが見込みなし」が次いで多い順となっている。

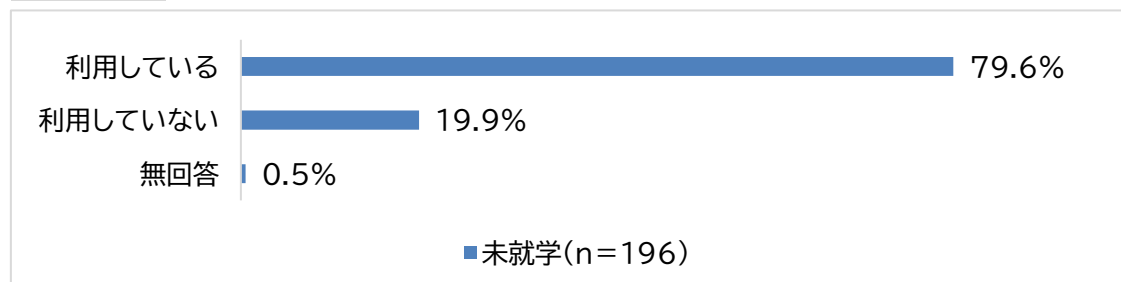
問 前問で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。



未就学児は、「一番したの子どもがある程度の年齢になれば就労したい」の回答が約5割と最も多く、次いで「すぐ、もしくは1年以内に就労したい」と続いており、小学生は、「就労予定なし」が6割となっています。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 【未就学児のみ】

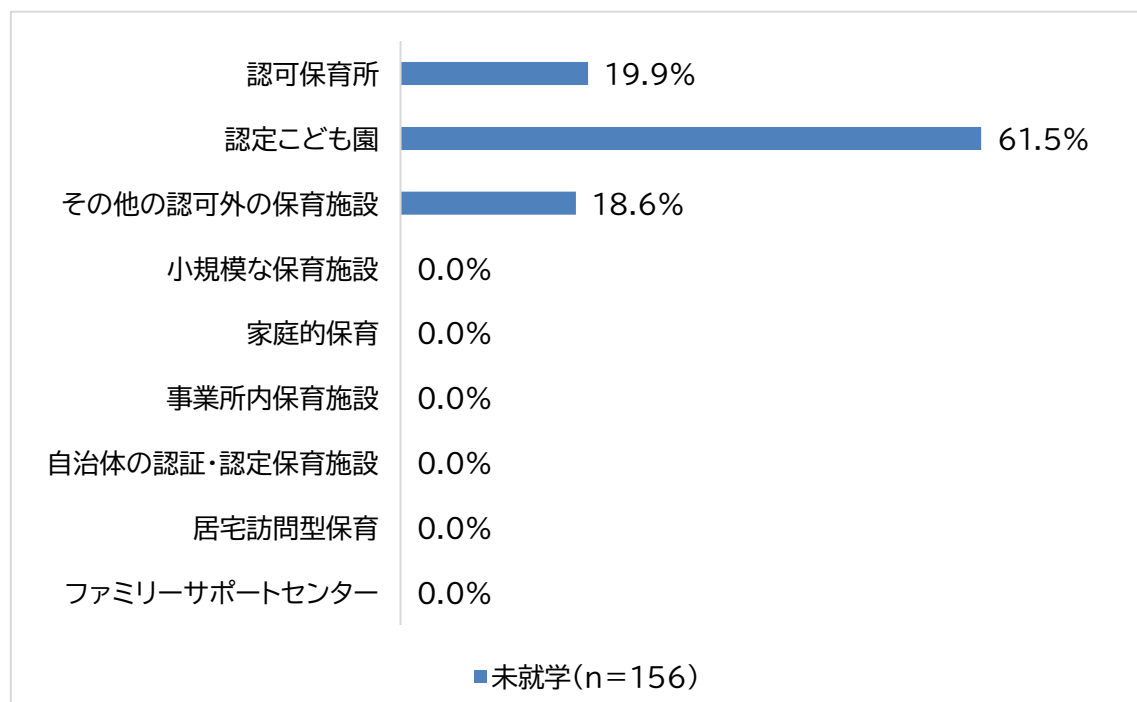
問 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。



「幼稚園・保育所などを利用している」の回答が約8割を占めており、「利用していない」の回答が約2割となっています。

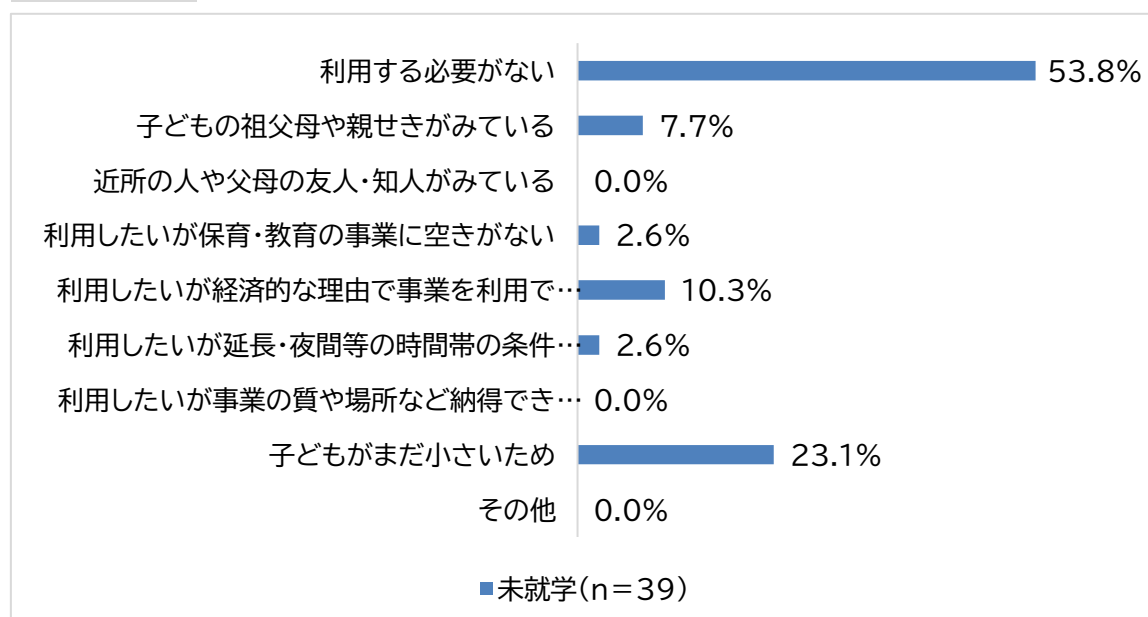
問 前問で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。【複数回答】



定期的に利用している施設は、「認定こども園」「認可保育所」「認可外保育所」の順となっています。

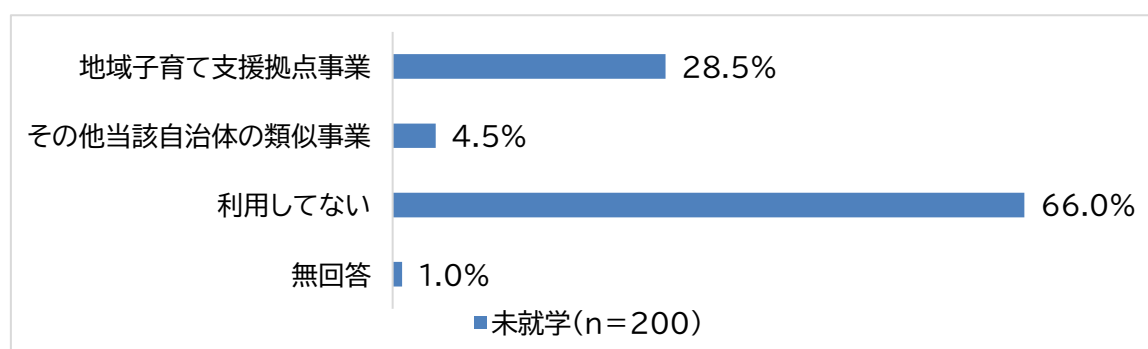
問 前問で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。【複数回答】



利用していない理由は、「必要がない」が最も多く、次いで「まだ小さいため」と続いており、この2つが主な理由となっています。

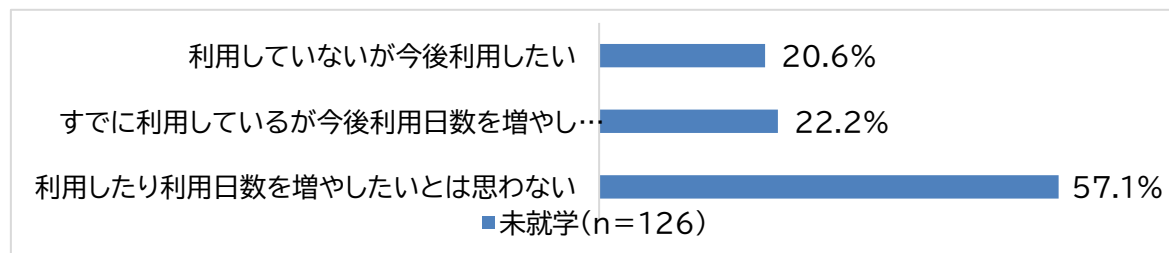
地域の子育て支援事業の利用状況について【未就学児のみ】

問 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。【複数回答】



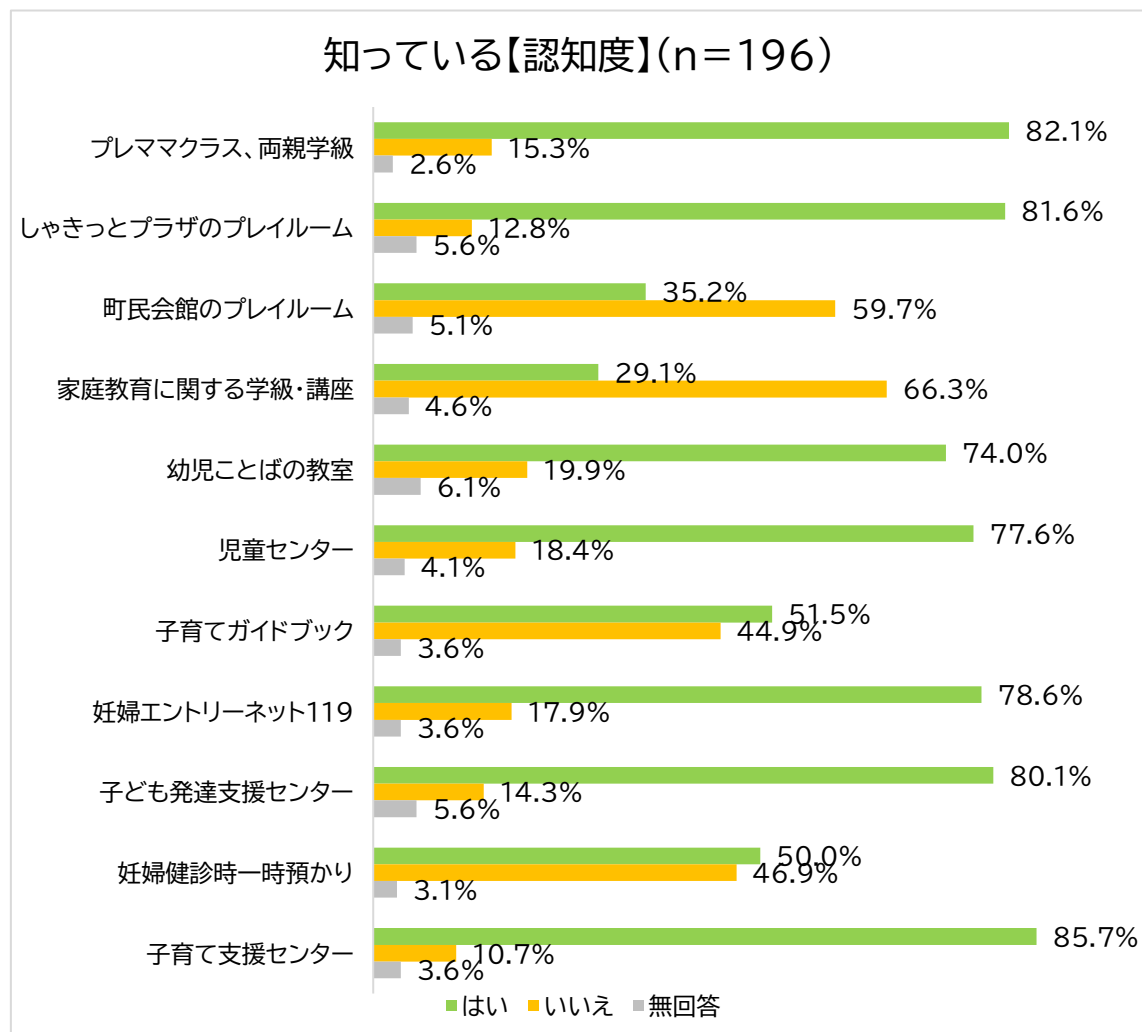
子育て支援センターの利用状況は、「利用している」は約3割を占めており、「利用していない」が約7割を占めている状況となっています。

問 前問のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

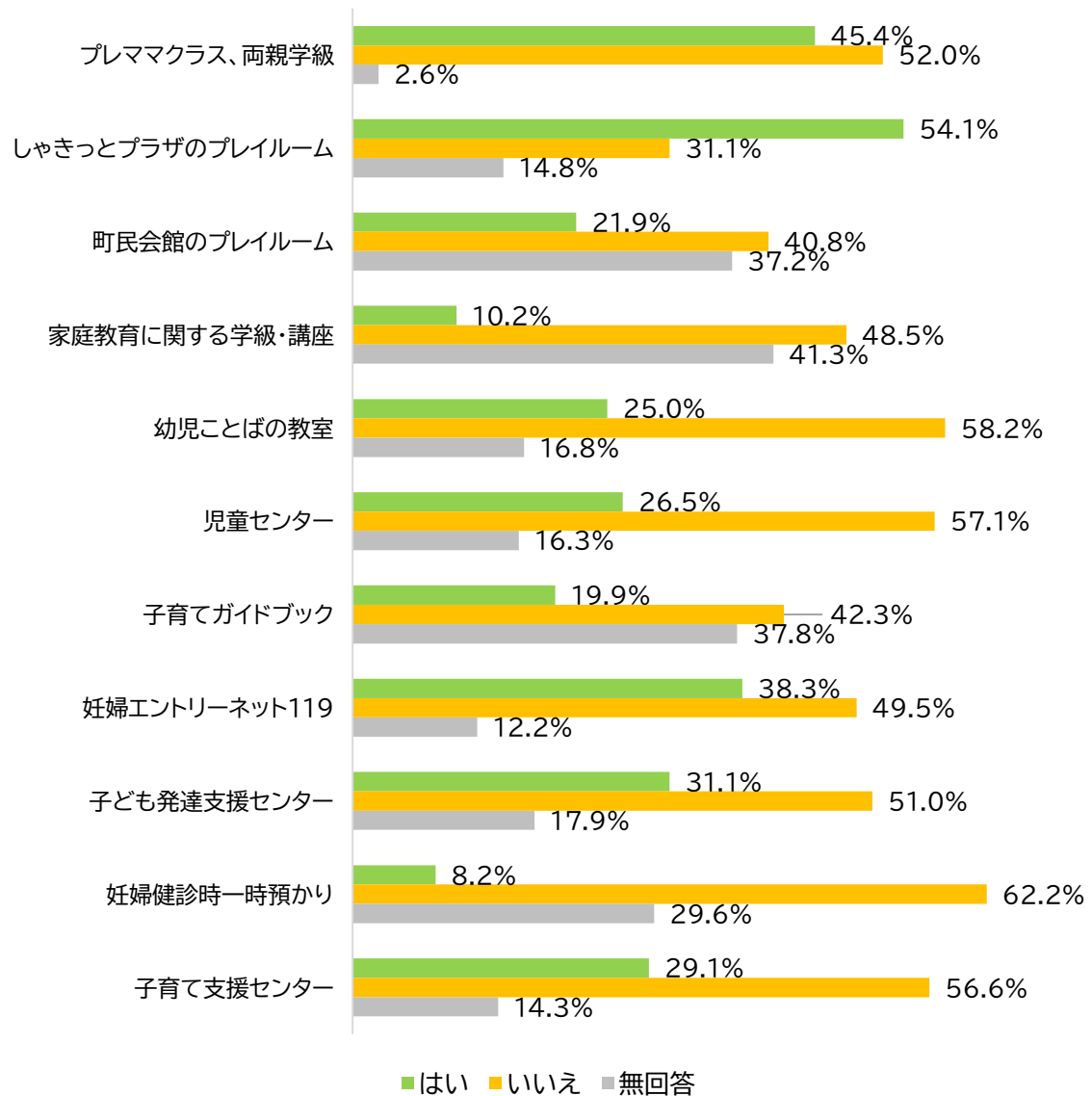


子育て支援センターの今後の利用意向は、「今後利用したい」「利用を増やしたい」が約2割を占めており、「利用しない等」は約6割を占めている状況となっています。

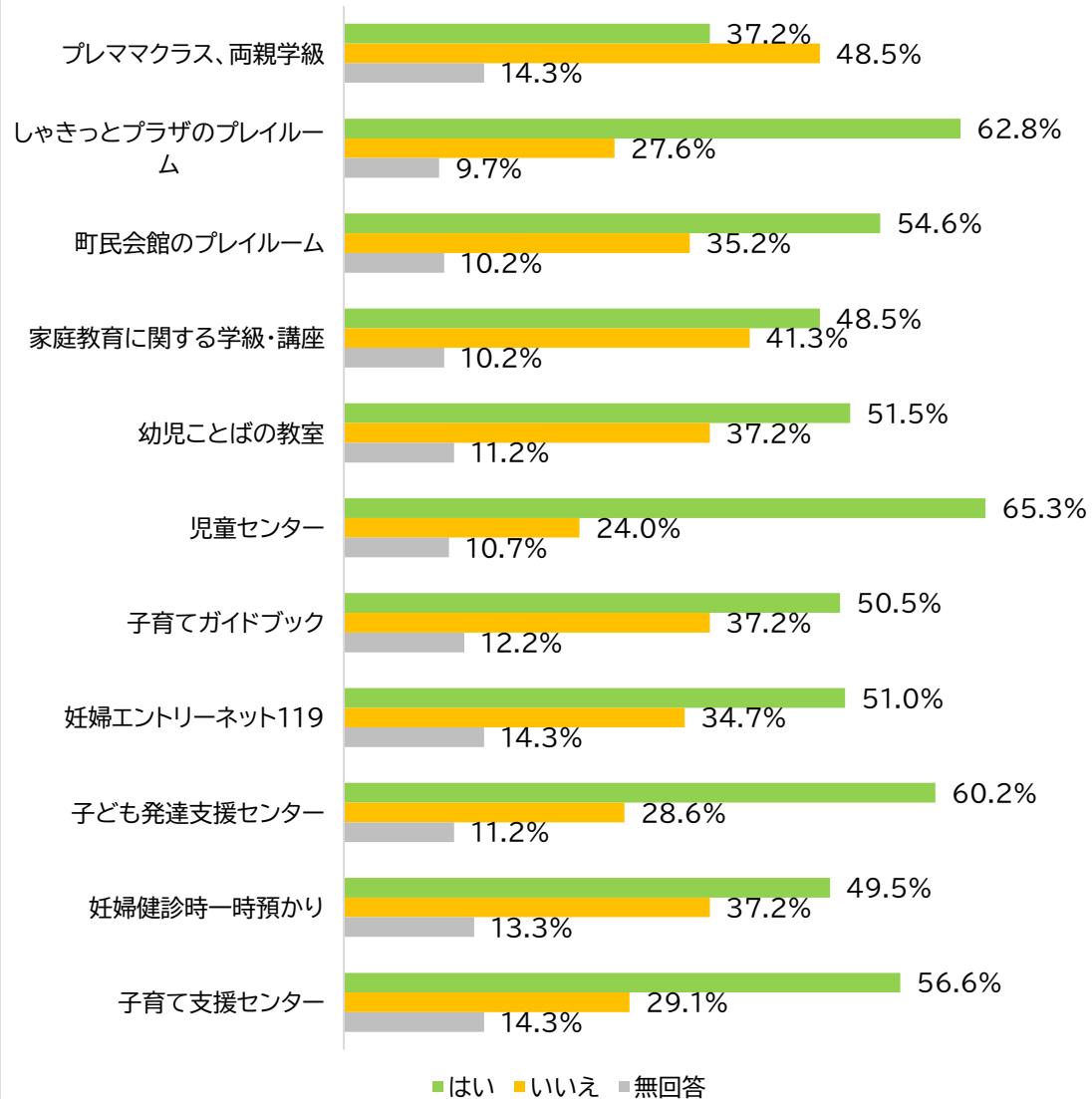
問 下記の事業及び施設で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。



これまでに利用したことがある【利用状況】(n=196)



今後利用したい【利用希望】(n=196)



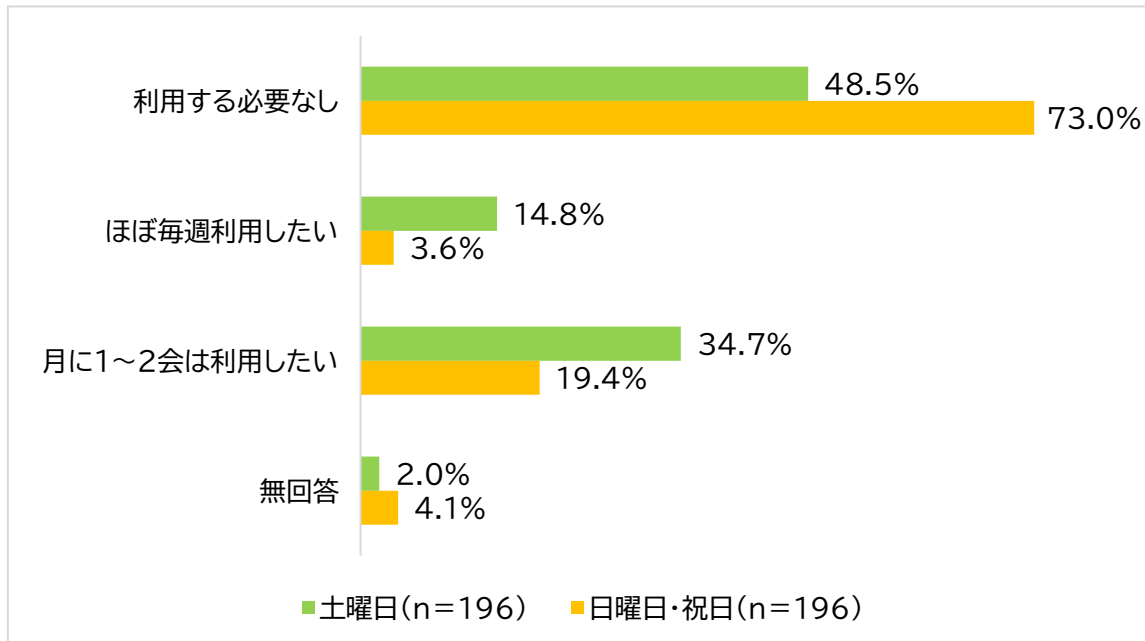
概ね全ての事業(施設)の認知度は8割と高いですが、「町民会館のプレイルーム」や「家庭教育に関する学級・講座」は約3割となっております。

利用状況では、「プレマクラス」「しゅきっとプラザのプレイルーム」「妊婦エントリー119」は利用したことがあるが約4割を超えていますが、その他の事業(施設)は利用したことがないが多い状況となっています。

今後の利用希望では、概ねすべての事業(施設)が半数を超えています。

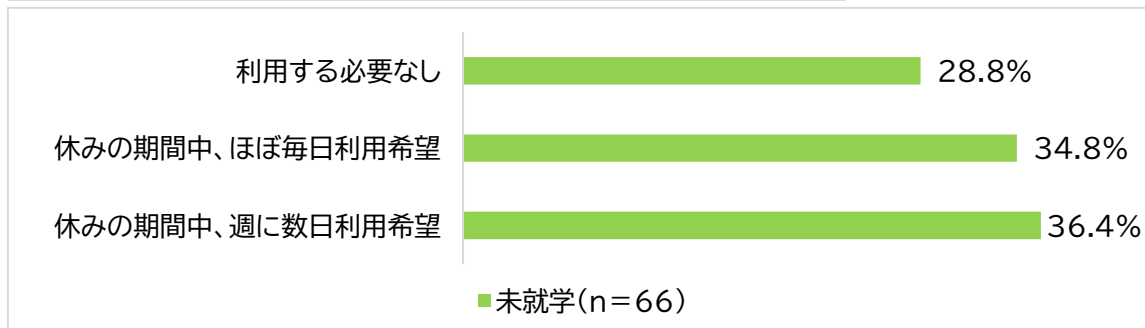
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について【未就学児のみ】

問 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。



土曜、日曜日・初日ともに、「利用する必要なし」が最も多く、次いで、「月1～2回の利用」と続いている状況となっています。

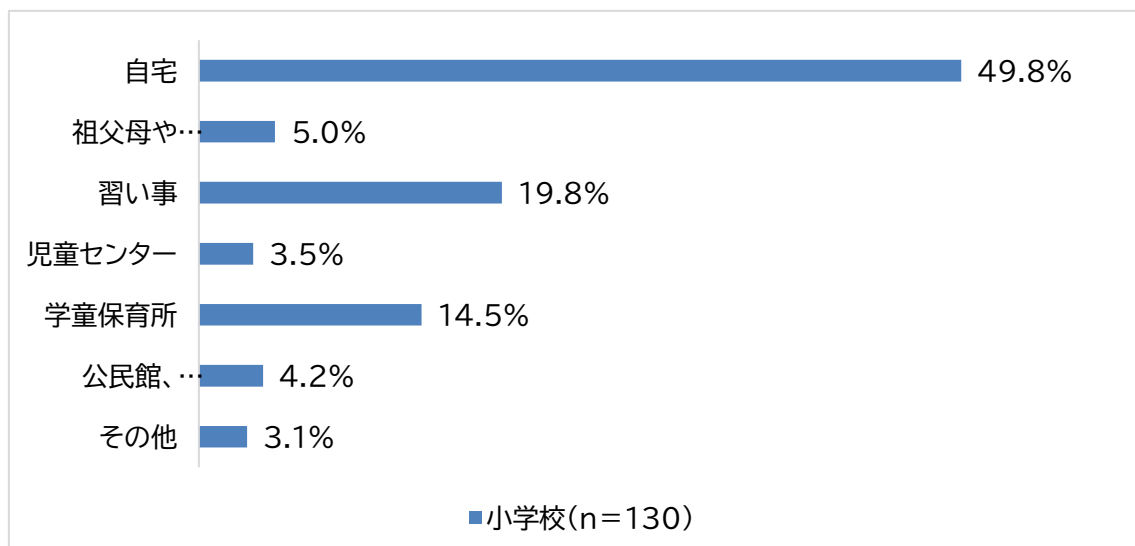
問 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。



長期休暇期間中の利用では、「数日程度の利用」「ほぼ毎日」「利用する必要なし」の順となっており、割合はほぼ横並びとなっている状況となっています。

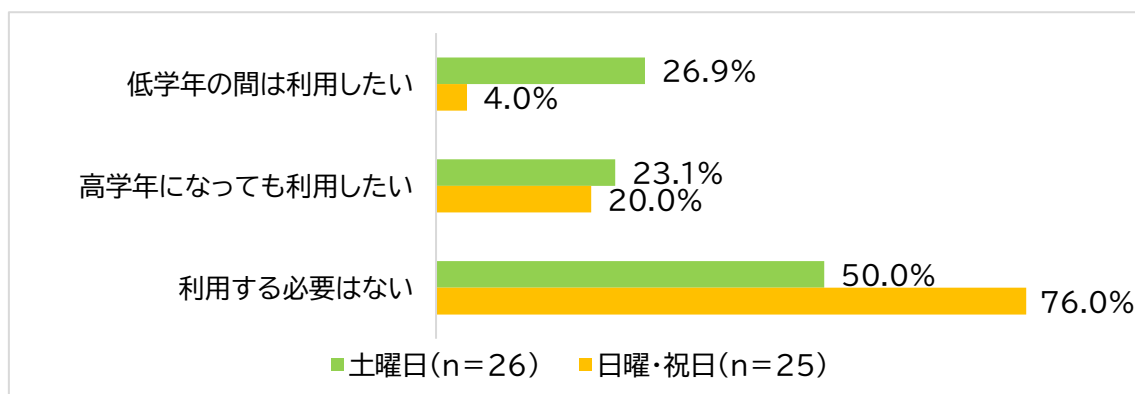
放課後の過ごし方について【小学生のみ】

問 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。【複数回答】



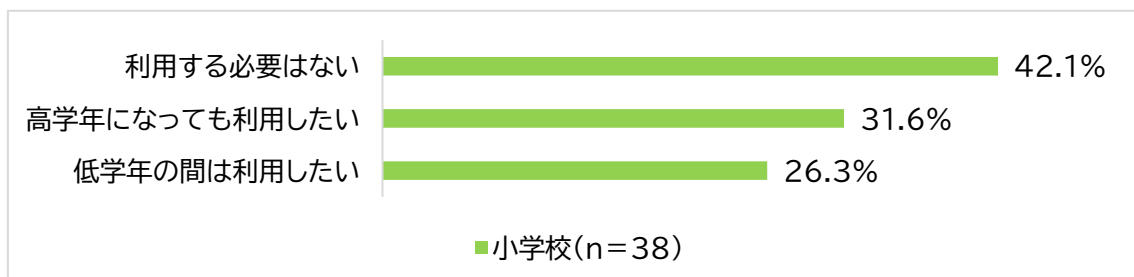
平日の小学校終了後の放課後の過ごし方は、「自宅」が約5割を占めており、次いで「習い事」「学童保育所」の順となっています。

問 前問で「学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。



学童利用の土曜日は、「利用したい」と「利用しない」が同数となっています。また、日曜日の利用は、「利用する必要はない」は約8割を占めている状況となっています。

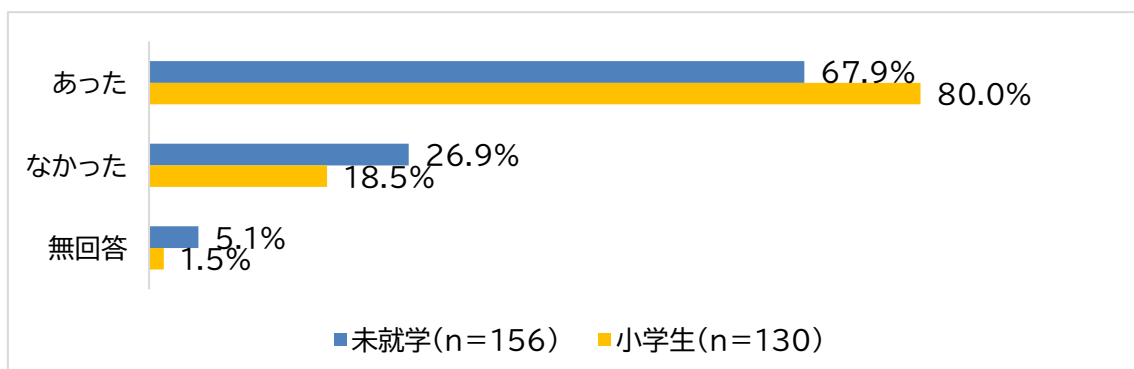
問 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。



長期期間中の利用希望について、「利用する必要はない」が最も多く、次いで「高学年になっても利用」したい、「低学年の間は利用したい」の順となっています。

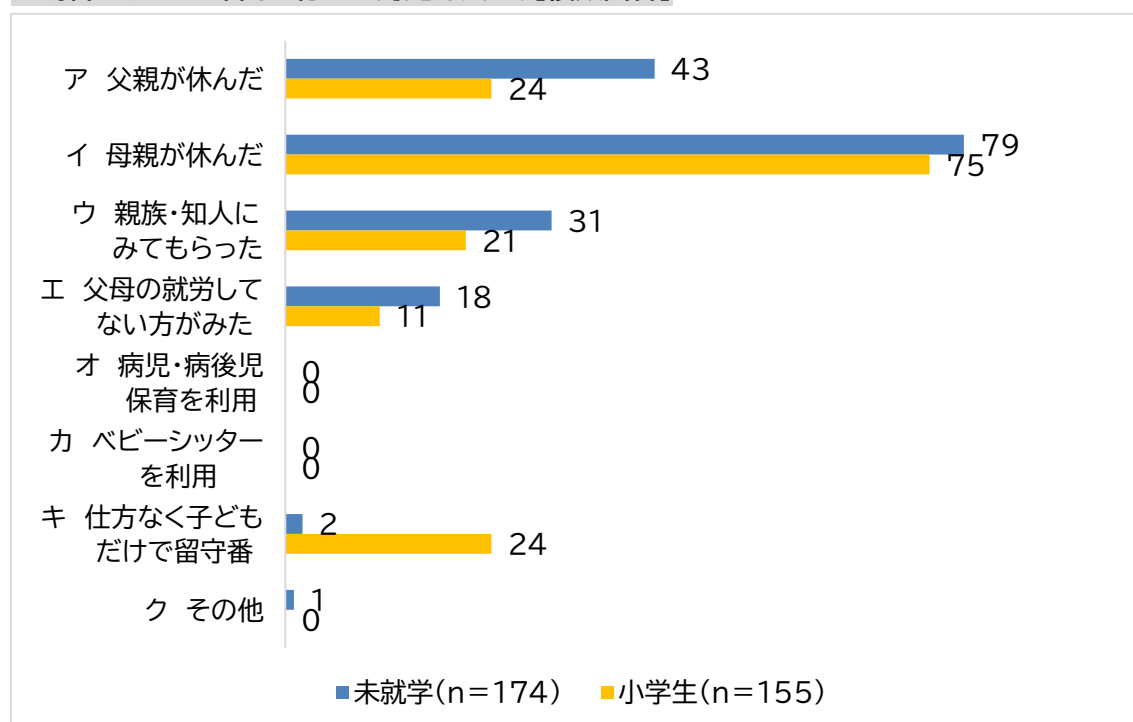
病気の際の対応について【共通】

問 宛名のお子さんについて、この1年間に病気やケガのため小学校を休まなければならなかったことはありますか。



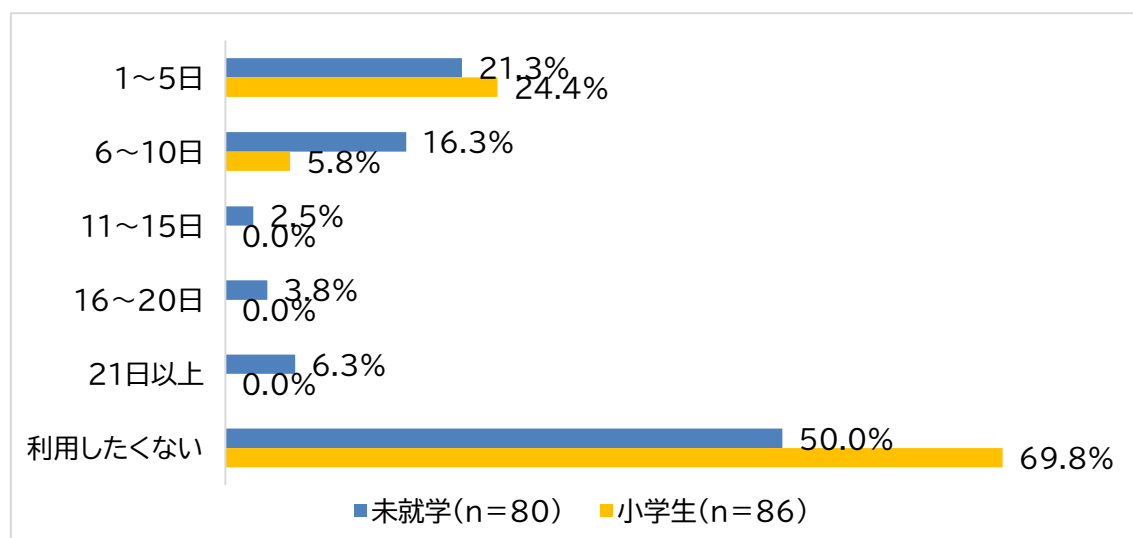
1年間に病気やケガで休んだことについて、「あった」が約7割を上回っている状況となっています。

問 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法は【複数回答】



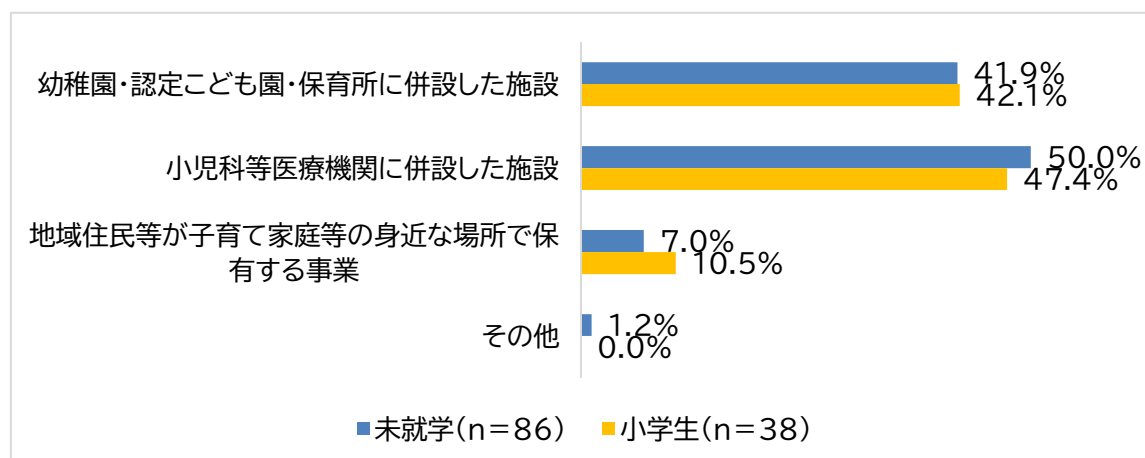
未就学児・小学生ともに、「母親が休んだ」が最も多く、次いで「父親が休んだ」「親族、知人」「父母の就労していない方」の順となっており、この4つが主な理由となっています。

問 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。



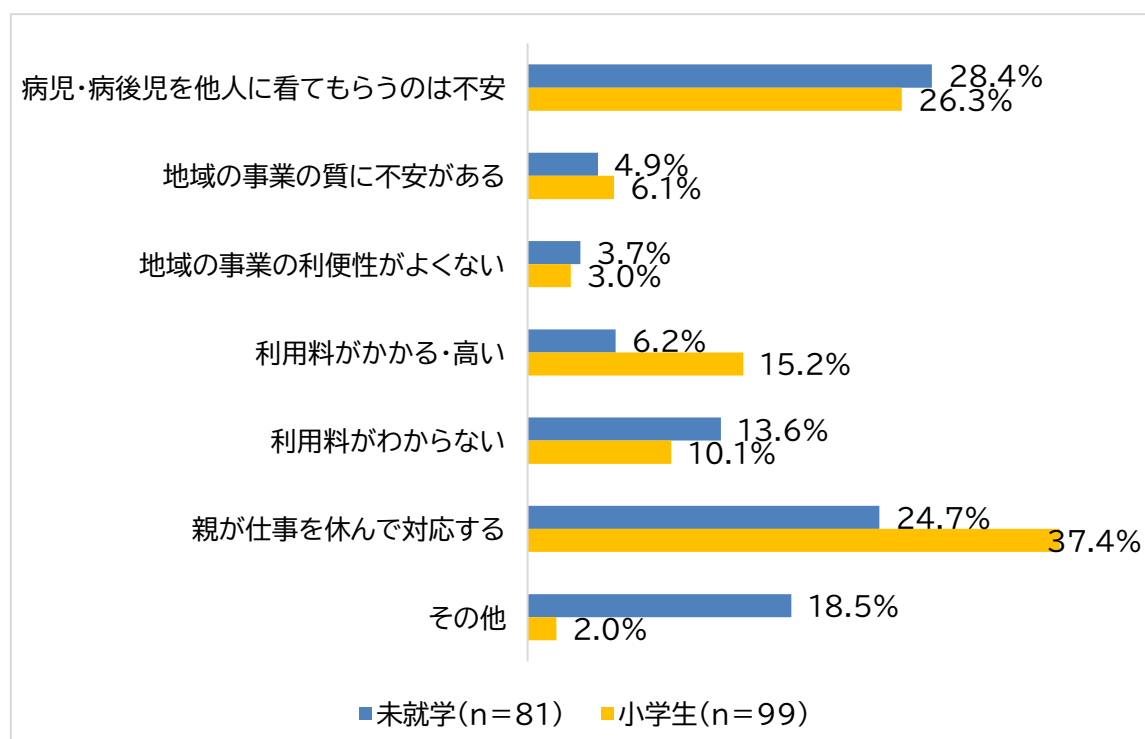
病児・病後児について、未就学児・小学生ともに「利用したくない」が最も多く占めており、次いで「1日～5日の利用希望」の順となっています。

問 前問で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。



未就学児は、「医療機関に併設した施設」が約5割を占めており、次いで「幼稚園等の施設」が約4割を占めている状況となっています。小学生では、いずれも約4割を占めてほぼ横並びの状況となっています。

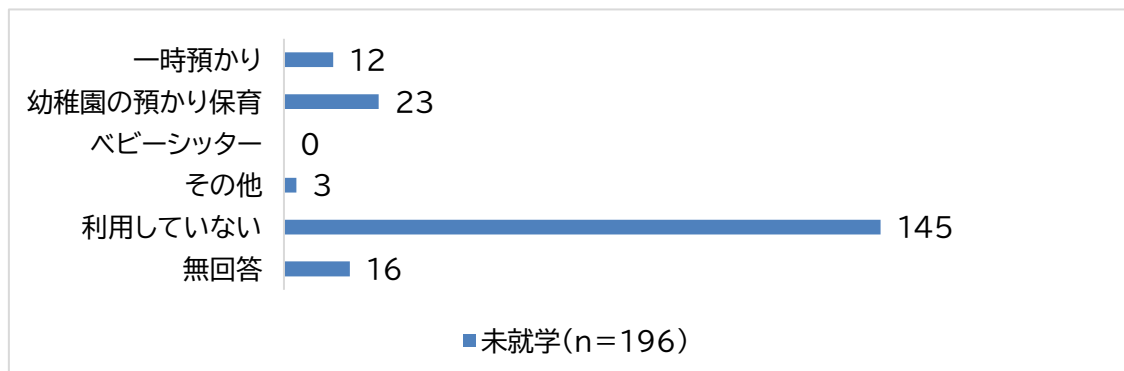
問 前問で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。【複数回答】



利用したいと思わないについては、未就学児・小学生ともに「親が休んで対応」「他人に看てもらうのは不安」が多く、この2つが主な理由となっている。

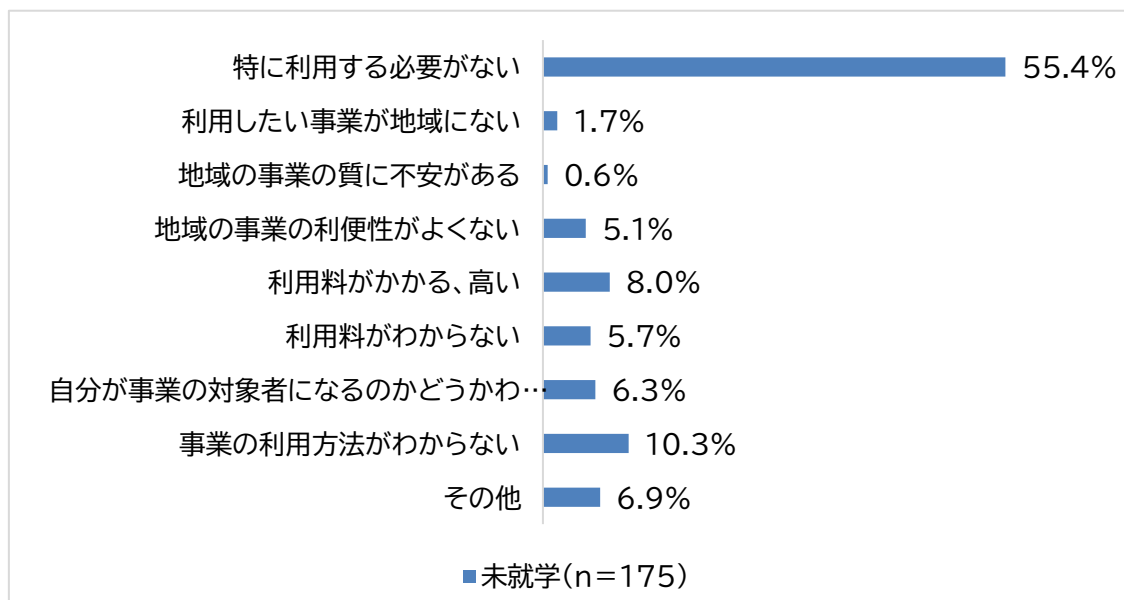
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について 【未就学児のみ】

問 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。



不定期の利用について、「利用していない」が圧倒的に多く、「幼稚園の預かり保育」「一時預かり」はそれぞれ少しの割合を占めている状況となっています。

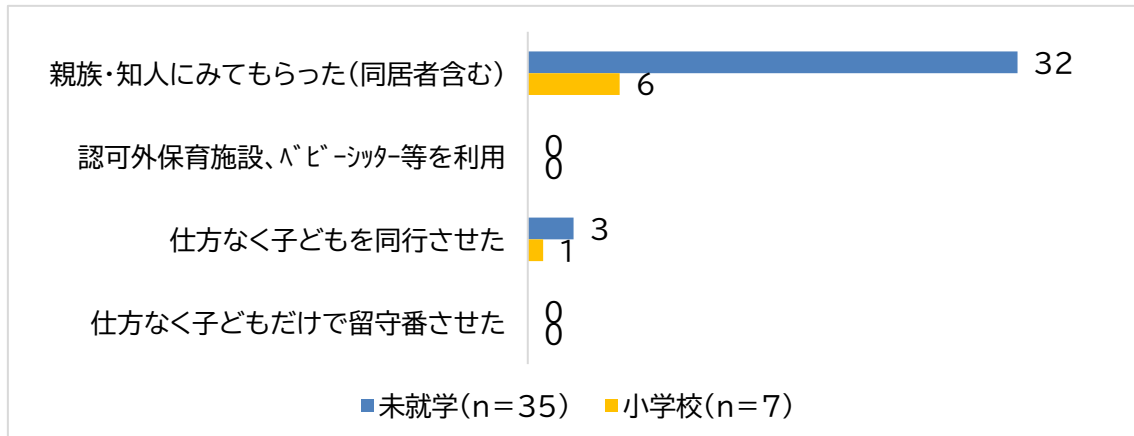
問 現在利用していない理由は何ですか。



現在利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が5割を超えており、次いで「利用方法・利用料・対象になるかがわからない」が主な理由となっています。

宿泊を伴う一時預かり等の利用について【共通】

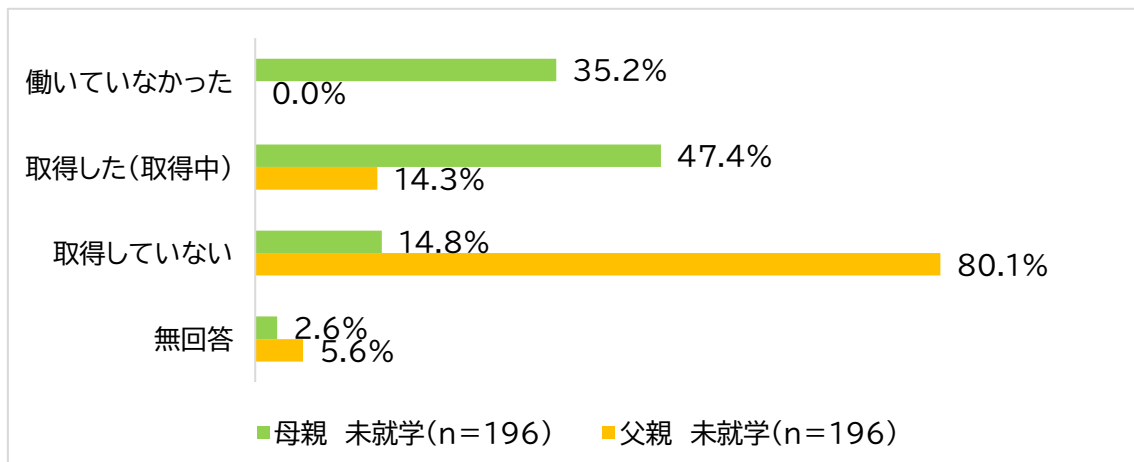
問 この1年間に保護者の用事(冠婚葬祭、病気、不定期の就労等)で宛名のお子さんを家族以外に日帰り又は泊りがけで預けなければならないことはありましたか。



未就学児については、「親族・知人」が多くを占めており、次いで「子どもを同行」の順となっています。

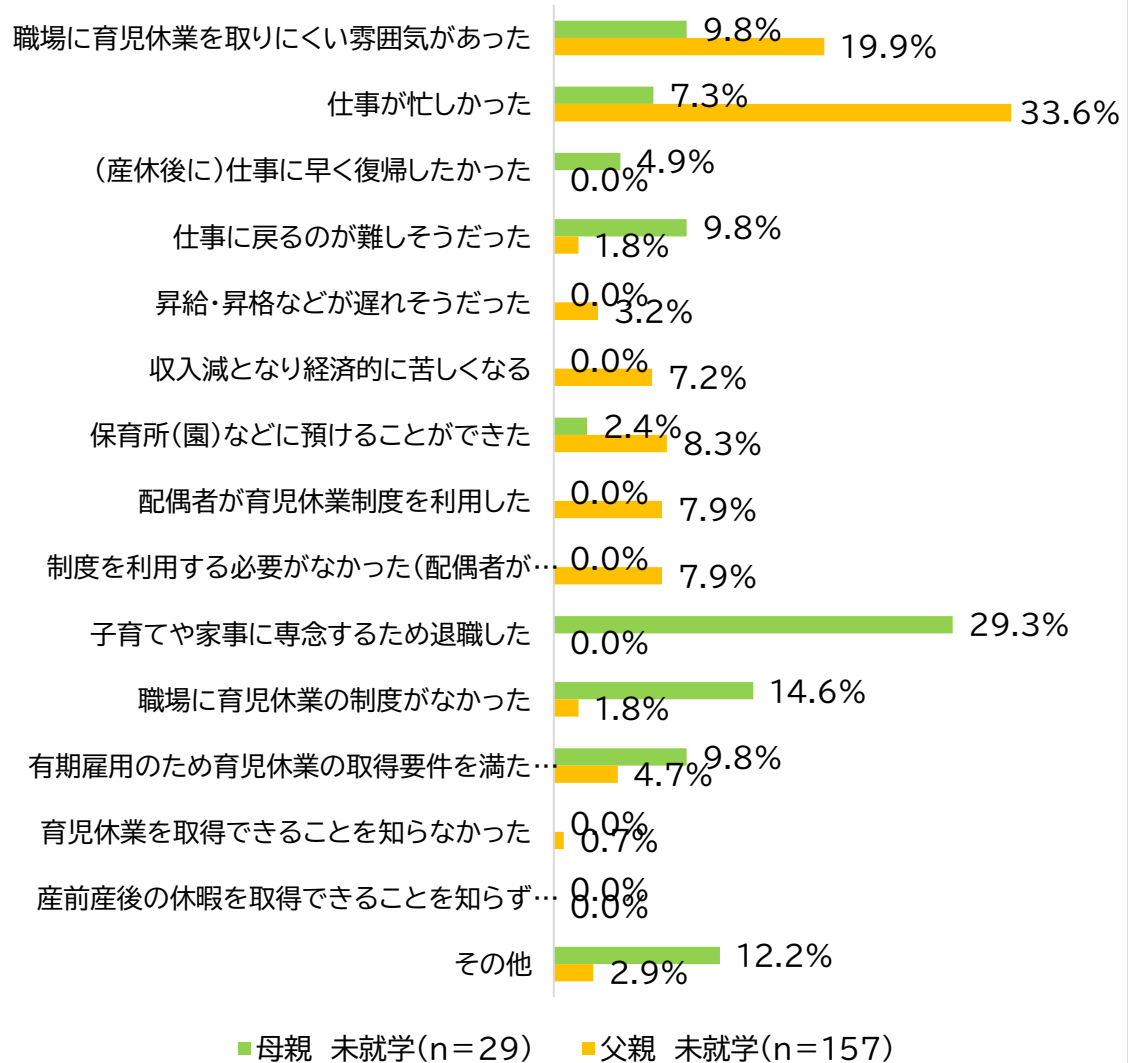
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について【未就学児のみ】

問 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。



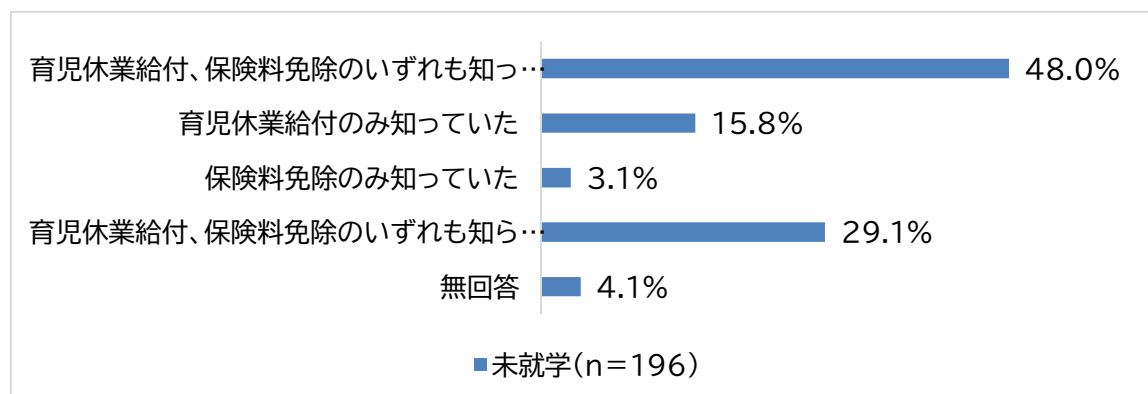
育児休暇の取得について、母親は「取得した」「働いていなかった」「取得していない」の順となっており、父親は反対に「取得していない」「取得した」の順となっている状況です。

育児休業を取得していない理由



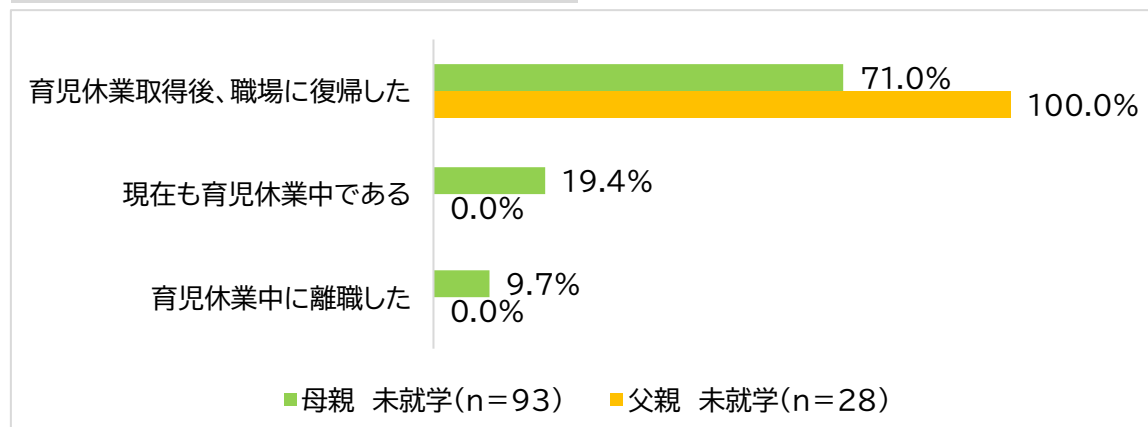
育児休暇の取得していない理由は、父親は「仕事が忙しかった」が約3割、「取りにくい雰囲気」が約2割、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が約3割となっている状況です。

問 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。



育児休業給付、保険料の免除について、「知っていた」は約5割を占めており、「知らなかった」は約3割を占めている状況となっています。

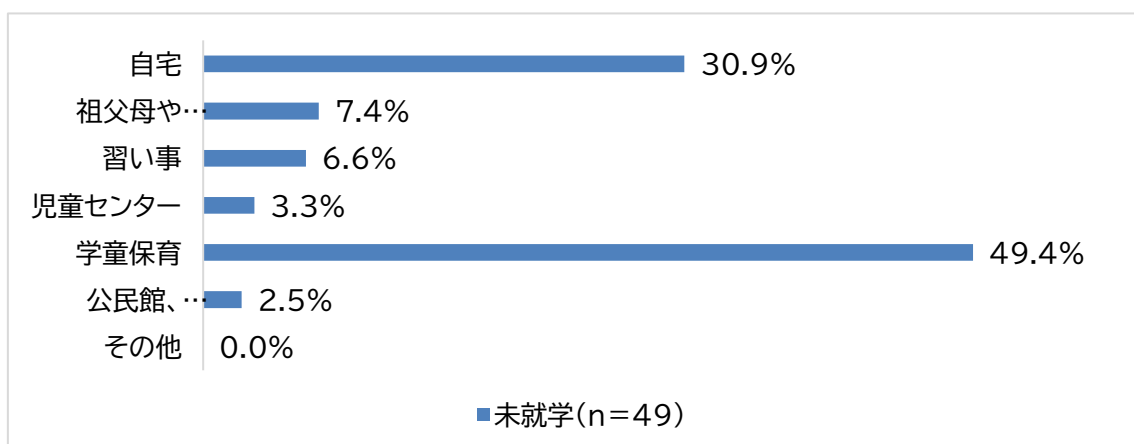
問 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。



育児休業取得後の職場復帰について、父親はすべてが「職場に復帰した」となっており、母親は「職場に復帰した」「現在も休業中」が9割以上を占めていますが、「離職した」が1割となっています。

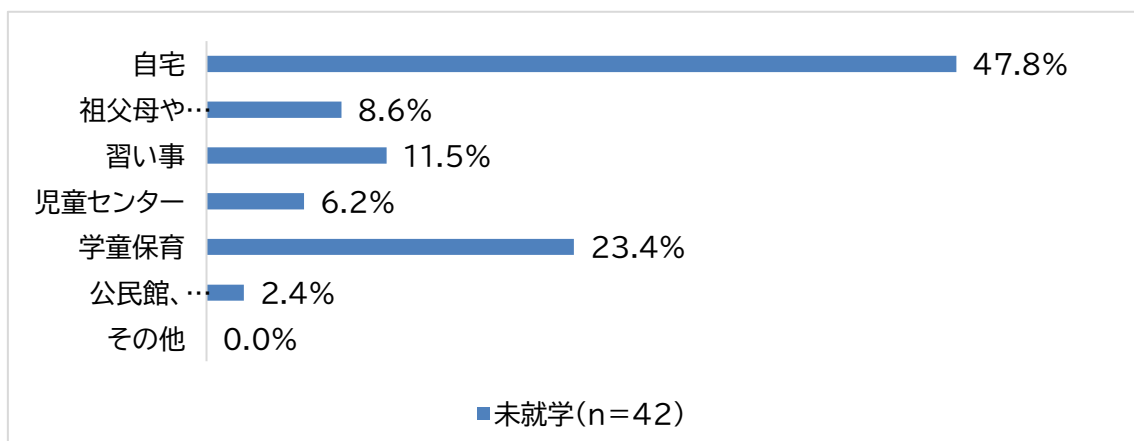
小学校就学後の放課後の過ごし方について (お子さんが5歳児以上である方)【未就学児のみ】

問 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。



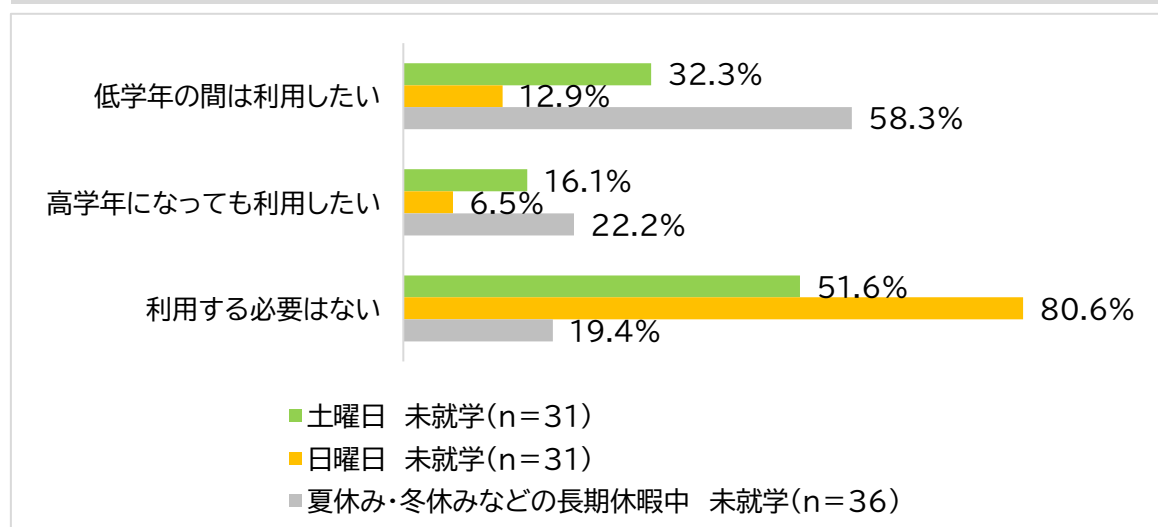
小学校低学年の放課後の時間について、「学童保育」が約5割を占めており、次いで「自宅」「祖父母」「習い事」の順となっている状況です。

問 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。



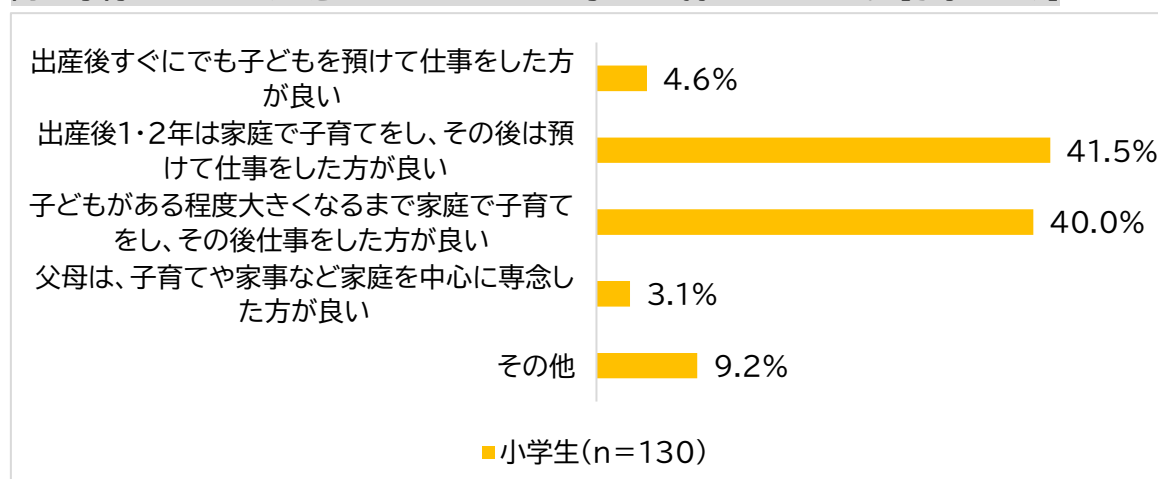
小学校高学年の放課後の時間について、「自宅」が約5割を占めており、次いで「学童保育」「習い事」「祖父母」の順となっている状況です。

問 前問で「学童保育」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日・夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育の利用希望はありますか。



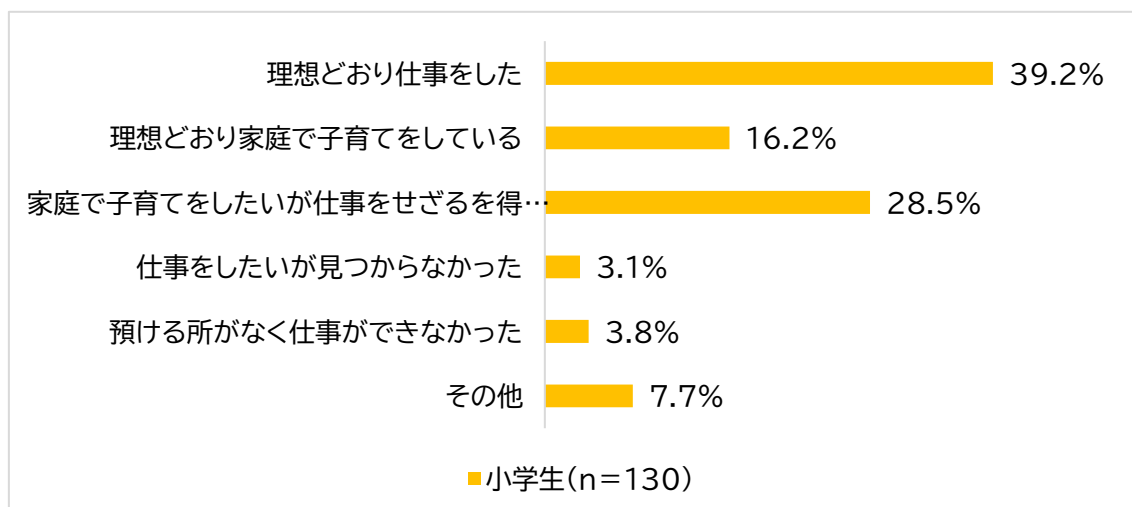
学童保育の土日・祝日、長期休暇中の希望利用について、低学年の間は「長期休暇中」の利用希望が多く、「日曜日」は少ない状況となっています。また、高学年は利用しないが多くを占めています。

問 子育てについて、理想としてどのようなお考えをお持ちでしょうか。【小学生のみ】



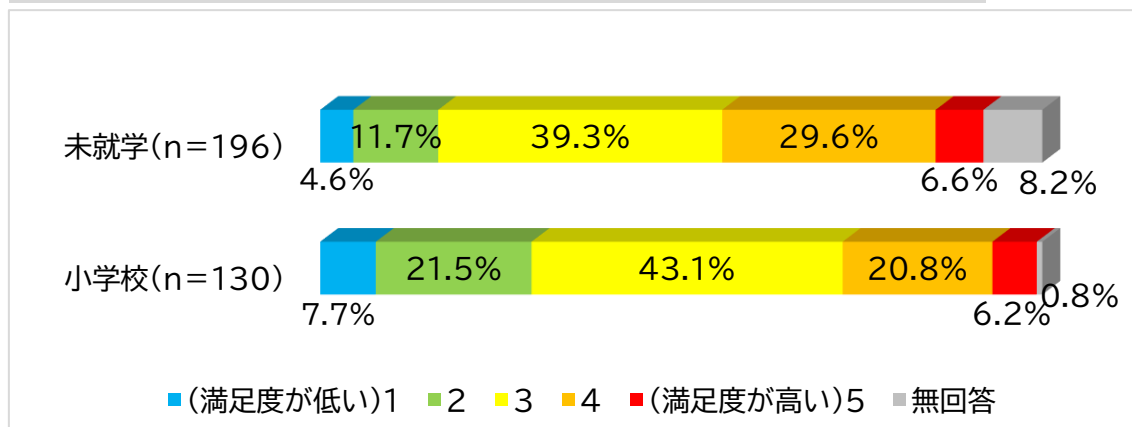
小学生のみの設問であり、「1～2年は家庭で子育て」「ある程度大きくなるまで」が大半を占めていて、主な理想の考えはこの2つとなっている状況です。

問 前問について、実際はどうでしたか。【小学生のみ】



小学生のみの設問であり、理想と実際について、「理想どおりできた」が合わせて約7割を占めており、「理想どおりできなかった」が合わせて約3割を占めている状況となっています。

問 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について【共通】



子育て支援に関する満足度について、未就学児は「3(普通)」は約4割を占めており、「4(やや高い)」「5(高い)」を合わせると全体の約6割を占めている状況となっています。小学生は「3(普通)」は約4割を占めており、「4(やや高い)」「5(高い)」を合わせると全体の約6割を占めている状況となっています。

自由意見(主な意見・要望等)について

問 子育て(教育)をするうえで、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。

問 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見あればご記入ください。

意見の種類		未就学児	小学生	計
①	幼稚園・保育園について	11	2	13
②	学童保育について	11	8	19
③	病児病後児について	4		4
④	一時預かりについて	26	5	31
⑤	母子保健・医療について	18	1	19
⑥	仕事と育児の両立支援について	2		2
⑦	経済的支援について	20	6	26
⑧	子育てに関する情報提供について	7	1	8
⑨	公園等の遊び場について	8	7	15
⑩	子育て支援センターについて	13		13
⑪	発達支援センターについて	4		4
⑫	児童センターについて	2	3	5
⑬	小学校、教育について	8	11	19
⑭	その他	25	3	28
計		159	47	206

① 幼稚園・保育園について(意見総数:13件)

- 保育園の預かり時間が長くなると助かる(7件)
- 美幌に引っ越してきてすぐ保育園に空きがないと言われ、仕事始めるのが大変でした。
- 発達に心配があるので、加配の先生をつけやすい環境を整えていただきたいです。
- 保育園の預かり可能月齢を生後 2 ヶ月からにできたら良いのではないかと思います。
- 日曜日も保育をして欲しい。
- 満3歳になるとお昼寝はいらない。
- 就労時間などの保育認定条件の緩和。

② 学童保育について(意見総数:19件)

- 学童保育は小学1～6年生まで利用できるようにして欲しい。(4件)
- 学童利用可能時間の開始と終了時間を長くしてもらいたい。(5件)
- 夕食を出して欲しい。(2件)
- 学童保育の無料化。利用料金が低い(4件)
- 小学 1 年生の下校が心配。4～6 月頃までは集団登下校などしてほしい。
- 祝日も学童保育所を開所して欲しい。
- 人数制限がねなければもっと利用しやすくなる。
- 学童保育所の利用できるスペースが狭い。

③ 病児病後児について(意見総数:4件)

- 病児保育、病後児保育はあったら本当に助かるのになと何回も思った。(4件)

④ 一時預かりについて(意見総数:31件)

- リフレッシュ目的などでの一時預かり利用が認められていないので認められると助かる。(14件)

- 当日に子どもを預かってもらいたい状況になったときに一時的に預かってもらえるサポートがほしい。(5件)
- ファミリーサポートがあればいいと思う。(4件)
- 土・日・祝に気軽に預けられる場所がほしい。(5件)
- 仕事をする人にとって一時預かりをもっとアピールした方が良い。
- 夜間預かってもらえる施設は欲しい。
- 一時預かりの日数の上限が緩和して欲しい。

⑤ 母子保健・医療について(意見総数:22件)

- 小児科を充実させて欲しい。土・日・祝に対応してもらえる、もしくは相談ができるところがせめてほしい。(11件)
- 産後0ヶ月の時に訪問があったが、それ以降自分から子育て支援センターや乳幼児相談に行かないとサポートがないので孤独だった。月 1 くらいでいいので3ヶ月くらいまでサポートして欲しい。
- 4ヶ月検診後10ヶ月までないので、6.7ヶ月検診があれば気になることを気軽に聞けるのでいいと思います。(2件)
- 相談が気がるにできるように、ふだんから保健師さんなどと接する機会があれば(増えれば)良い。(2件)
- 自治体の検診が 3 才までなので、それ以降も定期的に相談会などを開いていただけると、安心感があると思う。
- 陣痛タクシーがあればいいと思います(救急車だと呼びづらい)。欲を言えば産婦人科が欲しいです。
- 予防接種を北見のかかりつけでも受けれるようにしてほしい。国保、日赤、愛成以外でもしてほしいです。美幌の国保は時間が短いなど感じます。

⑥ 仕事と育児の両立支援について(意見総数:2件)

- リフレッシュ休暇をもっと撮りやすい職場環境があれば良いと思います。

- 有給が転職したばかりで少なく、子どもは 2 才、幼稚園に行き始めて半年。仕事を休むと欠勤になり、面接時に周りも協力してくれると言っていましたよねと、強くいわれ休みにくい。

⑦ 経済的支援について(意見総数:26件)

- すべての子どもの保育料や給食費の無償化。(8件)
- 子育て関連全てにおいて、所得制限をもうけるのは不公平感が強い。(6件)
- 子育てに対する支援金、一時金等があればいいと思います。(5件)
- オムツの無償配布があると助かる。(2件)
- スポーツクラブ、少年団活動に対する支援が少ない。
- 高校進学に対する補助
- プレミアム商品券はいつもとても助かってます。
- 子どもが小さいうちは色々な支援があるが、中学生、高校生になると子ども手当などの支援がなくなるので、18 才くらいまでは続けてほしい。
- 町外の進学に対して支援して欲しい。

⑧ 子育てに関する情報提供について(意見総数:9件)

- 相談専用の LINE など、便利なツールがあればもっと気軽に問合せが出来る。(2件)
- 他の市町村と比べて良い所もたくさんあるが、知らない事、知らない人が多いと思うのでもったいない。(3件)
- 地元でどんな習い事があるのかわかるようなものがほしいです。(2件)
- 色々な子供たちのためのサポート等も分かりやすく開示してほしい。
- ネットで調べられる保育園情報を美幌町サイトなどにのせてほしい。

⑨ 公園等の遊び場について(意見総数:15件)

- 休日、子どもと一緒に遊べる施設や公園、スペースがもっとあればいいなと思っています。(6件)
- 小学生が思い切り体を動かせる施設が欲しい(3件)

- 美幌町内の公園が綺麗だと子どもが集まり活気が出ますし、町の美化にも繋がると思います。(3件)
- 公園の遊具が少ないので充実させて欲しい。
- 子どもが遊べる屋内の施設が欲しい。
- きてらす 2F に子どもも一緒に入れるトイレを設置してほしい。

⑩ 子育て支援センターについて(意見総数:13件)

- 著名な保育者や専門家による相談やオンライン講演会など先進的な知見に触れられる機会が増えればいいと思う。(3件)
- フレッシュママセミナーなどの回数を増やして欲しい。
- 支援センターの保育者やスペースなどの拡充。
- 育児が初めてのため、心配・不安なことをすぐに相談できる環境があると嬉しい。(5件)
- ママだけではなくパパの支援もして欲しい。
- 簡単な料理のイベントを開催して欲しい
- 支援センターを 1 度利用したことはありますが、私が人見知りのため周りの保護者の方とはなかなか話せませんでした。

⑪ 発達支援センターについて(意見総数:3件)

- 子どもの個性を理解して、適切な学習を含めた日常を送ることができるようなサポートや保護者に対する発達に関する理解を広め、深める呼びかけ、学習の機会の提供。
- 平日だけでなく、土曜日や週 1 日でもいいので夜 19 時くらいまで相談など出来ると良いと思います。
- 他市のように小学生以下の送迎付きの発達支援施設があったら良いと思います。
- 発達支援センターは幼稚園まで、送迎付にし親の付き添いを無しにさせていただくと助かります。

⑫ 児童センターについて(意見総数:5件)

- 児童センターの位置がもう少し中心部にあると、色々な学校の人が利用しやすいと思います。(3件)
- 学校帰りに児童センターに行けるようにしたらいい。(2件)

⑬ 小学校・教育について(意見総数:19件)

- 少子化による各学校 1 学年あたりの生徒数が減少しており、一人ひとりに対して手厚く事業支援ができる一方で、クラス替えがないまま何年も過ごすことになり、是非学校の統廃合をお願いしたいです。(6件)
- 学校の時間がもう少し早く学校内に入れるようにしてほしい。(2件)
- クロムブックをもっと活用しオンライン授業を充実させて欲しい。(2件)
- LGBTQ の観点から中学校の制服も自由に選択し組み合わせられるスタイル(様式)になるといいなと思います。
- 「子供ファースト」とされていますが、もう少し保護者および生徒の意見を聴取すべきと思います。
- 学校の授業についていけなく放課後サポートなど子供にすすめても行きたがらず、わからないまま進んでしまっている。個々のペースで理解できる、楽しく学べる環境があるといいなと思います。
- 教員だけでなく専門分野の方々に子供たちを見て頂きアドバイスが欲しい。
- 中学校を選択制にして欲しい。
- 東陽小学校の2年生が40人を超えている。
- 不登校が増えている中で町内不登校児の居場所が少ない。
- 子どもが学校に通えず適応教室へ通っているが、今後適応教室にも行けなくなってしまう時に自宅で学習をして場合に出席したと認められるシステムがあるといいなと思っています。
- 入園入学に向けて必要な書類の準備や各学年にかかる概算経費等を広報等に掲載して欲しい。

⑭ その他(意見総数: 28件)

- 子育てなどのイベント開催が平日昼間に多すぎる。時間をずらして何回か行うなど親が就労していても子供にいろいろな体験をさせてあげられるようにしてほしいと思いました。(2件)
- 都市部と教育格差や体験格差をなるべく広げないためにも子供に色々な体験や鑑賞が出来るようになるといいと思っています。
- 子どもの習い事の送迎を支援してくれるサポートがほしい。
- 子供にスポ少などやらせたいが、頻度が多いものばかりで選べない。毎週のように試合があったり、週に何度も遅くまで練習があったりと、学業との両立が難しいものが多い。
- 熱中症対策のためクーラーをつけて欲しい。
- スポセンなどの体育館や年中使えるプールなど子供がスポーツをしたい時に練習や活動できる環境を整えてほしい。
- 離乳食の時間が苦痛でたまらないのに外出先で子供と一緒に食べれる施設がない。
- オホーツク地域は圧倒的に学力が低く、早い段階で発達に応じた適切な対応を行えるように支援をお願いしたいです。
- 美幌のサービスは普通の家庭を前定に作られているので利用できません。困難さがある家庭でも利用できるサービスの充実を願います。
- ファミリーサポートをもっと充実させてほしい。(2件)
- 子ども用品が充実したお店が欲しい。(4件)
- 高校にも給食を導入して欲しい。
- びほーるで子供対象の無料上映会があると嬉しいです。
- 施設の充実を進めると、保護者は助かるが、子どもが常に長時間預けられて親子の時間が減る。社会に子育て世代は愛情関係を育む育児時間が必要な事を知ってもらう事を先行して進めてほしい。
- 現場の職員の方は皆さん熱心に取り組んでいただき助かっています。
- サービス向上はいいことだと思いますが現場の方が疲弊しない適度な環境で取り組んでいただきたいです。
- 保育士さんには日頃感謝しかありません。日中の子ども達のお世話プラス帰った後などに事務作業や行事の用意などたくさん残業されているかと思います。家に帰って作業されてい

る方もいると思います。もう少しまちで保育士不足、保育士さんの負担を考えてほしいし給料アップなどしてほしいなと親として心から思います。

● 病院にかかる費用が無料だったり、子育てに関する施設が多くあることや、子どもを遊ばせる施設が多かったりと子育てしやすい町だと感じています。(2件)

● 現在 3 人の子供を育てています。美幌町は子育てに優しい町だと思っています。

● 保育環境は整っているのか他と比べたことがないので分かりませんが、金銭的な支援は色々あるな！！と嬉しくなります。(給食費補助や病院代)

● 全体的にいつも満足しています！ありがとうございます！(3件)